

新潟市歴史博物館 年 報

第 11 号 《平成 26 年度版》



目次

I 沿革	
1 開館までの経緯	3
2 開館後の経過	
II 施設概要	
1 建築概要	5
2 施設配置図, 建物平面図	
(本館 1 階・2 階・3 階, 旧税関, 旧第四 1 階・2 階, 石庫)	
III 事業概要	
1 展示運営事業	8
(1)常設展示	
(2)ミュージアムシアター	
2 企画展示事業	8
(1)開館 10 周年記念「大新潟湊展」	
(2)「新潟地震」展	
(3)第 11 回むかしの暮らし展「冬のにいがた」	
(4)合併 100 周年記念展「沼垂」	
3 教育普及事業	12
(1)体験の広場	
①体験プログラム	
(2)博・学連携事業	
①学校の見学 ②大学寄附講義 ③博物館実習 ④外国人留学生インターンシップ	
(3)講座事業	
①博物館講座 ②くずし字講座 ③館長講座 ④開館 10 周年記念講演会	
(4)情報ライブラリー	
(5)ボランティア	
(6)新潟市立歴史系博物館・資料館懇談会	
4 施設普及事業	23
(1)自主事業として実施した展覧会・イベント等	
①新収蔵・収蔵品展	
(2)共催事業として実施した展覧会・イベント等	
①堀と桜のコンサート ②新潟みなと水遊記 ③夕涼みコンサート ⇒雨天中止 ④みなと・しもまち・川祭り ⑤みなとびあ 10 周年感謝祭 ⑥文化財保存新潟県協議会「歴史講演会」	
(3)貸し館の形態で協力した事業・イベント等	
①'14 新潟ロードレース大会 ②湊まち歴史ウォーク 2014 ③第 52 回 日本現代工芸新潟会展 ④東京税関新潟支署保管証券展示会 ⑤新潟の 戦争の記憶を辿るバスツアー ⑥第 32 回新潟シティマラソン	

目次

(4)その他 広報・地域連携の目的で開催に協力した事業・イベント等	
①えんでこ(まち歩き) ②「おんどこどん!ミッキー音頭プロモーションツ	
アー」 ⑤新潟光の響宴(プロジェクションマッピング)	
(5)みなとびあファンクラブ	
5 調査研究事業	28
(1)『新潟市歴史博物館研究紀要』第11号の刊行	
(2)重点テーマ調査研究	
(3)重点テーマ研究促進等のための専門図書の収集	
6 資料整理・保存事業	28
(1)保存環境管理	
(2)資料整理	
(3)燻蒸	
(4)受入・購入した資史料等	
7 刊行物	28
(1)図録	
(2)紀要	
(3)その他	
IV 来館者の状況	29
1 来館者数の推移	
2 観覧料収入及び減免の状況	
3 アンケート結果	
V 組織・会計	33
1 組織・事務分掌	
2 予算・決算	
3 新潟市歴史博物館運営協議会	

I 沿革

1 開館までの経緯

和暦(年度)	西暦(年月日)	事 項
安政 5	1858.6	江戸幕府がアメリカなど5カ国との間で修好通商条約を締結。 新潟が開港地に指定
明治 元 (11.19)	1869.1.1	新潟港及び佐渡両津の夷港開港(新潟運上所を新潟府に設置)
2	1869.10.4	新潟運上所庁舎が竣工,翌日開所
5	1873.1.4	新潟運上所を新潟税関と改称
25	1892.11.1	横浜税関新潟税関支署となる
昭和 30	1955.8.1	東京税関新潟税関支署となる
41	1966.5.1	新潟税関が竜ヶ島に移転
44	1969.6.20	旧新潟税関庁舎が国の重要文化財に指定される
	1970.1.1~1971.12.31	旧新潟税関庁舎解体修復工事
	1970.1.19	旧新潟税関庁舎の管理団体に新潟市が指定される
47	1972.4.1	旧新潟税関庁舎を利用し,新潟市郷土資料館開館
55	1981.3.5~1982.10.8	石庫復元工事
61	1986.6	新潟港港湾管理者(新潟県)が策定した新潟港港湾計画で, 郷土資料館周辺が歴史的環境保全緑地として新規指定される
	1986.7~1986.10	早川堀復元工事(11.10竣工式)
62	1987	有識者による(仮称)新潟市郷土博物館建設準備懇話会を設置。 懇話会より施設内容などについて提言を受ける
63	1988	早川堀脇の土地約3000㎡を先行取得
平成 元	1989	展示構想案を作成
2	1990.12.21~1991.3.20	郷土資料館周辺地区整備基本調査を実施(市都市計画課)
	1990	信濃川べりの土地約870㎡を先行取得
3	1991.11.1~1993.3.31	有識者による新郷土資料館展示検討委員会を設置
	1992.1.10~3.25	郷土資料館周辺地区整備基本計画を策定(市都市計画課)
	1992.2.7~3.25	新郷土資料館展示基本計画を作成
4	1992.11.24	郷土資料館周辺地区整備構想を発表
5	1993.6.30~1995.3.31	新郷土資料館建設基本計画検討委員会を設置
	1993	建設用地の買収を開始(~平成9年度)
6	1995.3	新郷土資料館建設基本計画を発表
7	1995.8.1~1997.3.31	有識者による新郷土資料館展示検討委員会を設置
8	1996.8.21~9.27	旧新潟税関の石積みの試掘調査を実施
	1997.3	新郷土資料館の展示計画を発表
9	1997.9.10~11.21	旧新潟税関の石積みの本格調査を実施
	1997.12.15~1998.3.30	(仮称)郷土歴史博物館展示基本設計
10	1998.11.25~1999.3.15	(仮称)郷土歴史博物館建設工事基本設計
	1999.1.4~3.31	(仮称)郷土歴史博物館展示実施設計(1)
11	1999.12.10~2000.3.31	(仮称)郷土歴史博物館建設工事変更基本設計
12	2000.5.8~2001.3.15	歴史的建造物移築復元工事基本設計
	2000.7.18~2001.3.31	(仮称)郷土歴史博物館展示実施設計(2)
	2000.7.21~2001.3.15	(仮称)郷土歴史博物館建設工事実施設計
	2000.9.8, 10.6	歴史的建造物(旧第四銀行住吉町支店)解体調査
13	2001.6.12~2001.12.25	歴史的建造物移築復元工事实施設計
	2001.9.28~2004.1.31	(仮称)郷土歴史博物館建設工事(本体建築工事~2003.8, 外 構工事2002秋~2004.1)
	2001.9.29~2004.2.28	(仮称)郷土歴史博物館展示製作
14	2002.5	歴史的建造物解体前の見学会開催
	2002.5.24~2003.12.15	歴史的建造物移築復元工事

14	2003.3.24	郷土資料館閉館
15	2003.9.26	市議会で歴史博物館条例、旧新潟税関改正条例を議決
	2004.1.1	新潟市芸術文化振興財団が指定管理者となる
	2004.3.20	新潟市歴史博物館開館記念シンポジウム
	2004.3.24	新潟市歴史博物館竣工式
	2004.3.27	新潟市歴史博物館開館

2 開館後の主な経過

和暦(年度)	西暦(年月日)	事 項
15	2004.3.27～ 2004.3.27～31	開館記念企画展「にいがた街の記憶」展を開催(～5/16) 開館記念として、全館一斉無料一般開放とする。 (5日間で22,509人来館)
16	2004.4.1 2004.5.8 2004.5.30 2004.5.30 2004.7.10～	新潟市歴史博物館(有料)開館 みなとびあ水辺の茶会開催 みなとびあ博物館まつり'04開催 シアター「あまのてふり」上映開始&トークショー 企画展「新潟の乗り物～都市を支えたバスと鉄道～」展開催 (～8/22)
	2004.8.20 2004.9.2 2004.9.11～	シアター「黒鳥伝説」上映開始 利用者20万人達成 開館記念特別展「長安文物秘宝展—千年王都西安の至宝—」 展を開催(～10/20)、期間中に観覧者3万人突破記念セレモニーを開催
	2004.10.23 2004.11.19～ 2005.3.27	新潟県中越地震発生(M6.8 PM5:56ころ) 第1回むかしのくらし展「ふゆのにいがた」開催(～2/13) 開館1周年で、感謝イベント実施
17	2005.4.23～ 2005.7.16～ 2005.9.17～ 2005.11.19～ 2006.1.22	企画展「川村修就とゆらぐ幕府支配」展開催(～5/29) 新潟市合併記念企画展「蒲原のあけぼの」展開催(～8/28) 特別展「新潟の蛙」展を開催(～11/6) 第2回むかしのくらし展「あそび～こどもと時代」開催(～1/29) 利用者50万人達成
18	2006.4.22～ 2006.7.15～ 2006.9.16～ 2007.2.10～	企画展「よみがえる源氏物語絵巻」展開催(～6/4) 平成18年度新潟市合併記念展「新潟の舟運」展開催(～9/3) 企画展第3回むかしのくらし展「手回し機械」展開催(～12/3) 開館3周年記念企画展「新潟・文人去来—江戸時代の絵画をたのしむ—」(前期～3/4、後期3/6～4/1)
	2007.3.28 2007.3.31 2007.4.21～	利用者70万人達成 みなとびあ三歳を祝う会を開催 平成19年度政令市移行記念企画展「写真の中の新にいがた」 展開催(～6/3)
19	2007.5.17～ 2007.7.21～ 2007.9.15～ 2007.11.23～	中華人民共和国西安博物院との友好提携に関する議定書の締結 企画展「西暦647年にいがた」展開催(～9/2) 特別展「船と船大工」展開催(～11/11) 企画展第4回むかしのくらし展「食の風景」展開催(～2/24)
20	2008.4.21～ 2008.7.19～ 2008.9.20～ 2008.11.15～	企画展「酒蔵」展開催(～6/8) 企画展「ムラの学校・マチの学校」展開催(～9/7) 開館5周年・新潟開港140周年記念特別展「絵図が語るみなと 新潟」展開催(～11/3) 企画展第5回むかしのくらし展「米とくらし」展開催(～2/1)

和暦(年度)	西暦(年月日)	事 項
2 1	2009.4.25～	企画展「五姓田」展開催（～6/7）
	2009.7.18～	水と土の芸術祭連携事業「蒲原平野の20世紀」展開催（～8/30）
	2009.7.31	利用者100万人達成
	2009.9.12～	新潟市・ハルビン市友好都市締結30周年記念特別展「ハルビン金代文化展」開催（～11/8）
	2009.10.9	皇太子殿下行啓（第9回全国障害者スポーツ大会に御臨席のため来県・みなとびあ来訪）
2 2	2009.11.21～	企画展第6回むかしのくらし展「ムラとマチの消防」展開催（～1/31）
	2010.4.24～	三芳悌吉生誕100周年記念『砂丘物語』原画展開催（～6/13）
	2010.7.17～	企画展「海峡を越えて－佐渡と新潟－」展開催（～8/29）
	2010.9.11～	企画展第7回むかしのくらし展「お店やさん」開催（～12/5）
	2010.10.17	APEC食料安全保障担当大臣会合参加関係者視察
	2010.12.18～	活動展示2010「ひきだす」展開催（～2/11）
	2011.3.11	平成23年（2011年）3月11日14時46分 東北地方太平洋沖地震（三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震（東日本大震災））発生
2 3	2011.4.23～	企画展「新潟美人」展開催（～6/19）
	2011.8.9～	企画展「発掘された日本列島2011」展開催（～9/11）
	2011.9.23～	企画展第8回むかしのくらし展「今日は何を着よう？」開催（～12/18）
	2012.1.7～	活動展示2011「伝える」展開催（～2/12）
2 4	2012.4.21～	企画展「にいがたの近代建築」展開催（～6/10）
	2012.7.21～	企画展「開墾の技術史」展開催（～8/26）
	2012.9.15～	企画展第9回むかしのくらし展「くらしの道具」開催（～12/16）
	2012.12.8～	活動展示2012「みせる」展開催（～2/24）
	2013.4.27～	企画展「報じられなかった写真〔昭和30年代〕－写真家・小林新一の820カット－」展開催（～6/9）
2 5	2013.7.20～	企画展「新潟の漆器」展開催（～9/1）
	2013.9.14～	企画展第10回むかしのくらし展「移り変わるくらしと住まいの道具」開催（～12/16）
	2013.12.7～	活動展示2013「博物館行き」展開催（～1/26）
	2014.3.21～	開館10周年記念特別展「大新潟湊展」（～5/18）
	2014.6.14～	企画展「新潟地震」展開催（～8/24）
2 6	2014.9.6～	企画展第11回むかしのくらし展「冬のにいがた」開催（～12/23）
	2015.1.10～	新潟市・沼垂町合併100周年記念「沼垂」展開催（～2/8）

II 施設概要

1 建築概要

■敷地面積 22,776.05㎡ (みどり公園 (早川堀) を含む)

■博物館本館

鉄骨鉄筋コンクリート造3階建

建築面積 2,155.94㎡

延床面積 5,508.30㎡

主要室面積

企画展示室 (1階) 317.90㎡

体験の広場 (1階) 320.84㎡

情報ライブラリ (1階) 78.41㎡

常設展示室 (2階) 839.69㎡

収蔵庫 (3階) 671.97㎡

■旧第四銀行住吉町支店 (国の指定登録文化財)

鉄筋コンクリート造2階建

建築面積 537.15㎡

延床面積 923.78㎡

■旧新潟税関庁舎 (国指定重要文化財)

木造瓦葺平屋建て (塔屋つき)

建築面積 386.77㎡ (延床面積 393.38㎡)

■旧新潟税関庁舎 (国指定史跡)

指定面積 8,946.44㎡

2 施設配置図・建物平面図

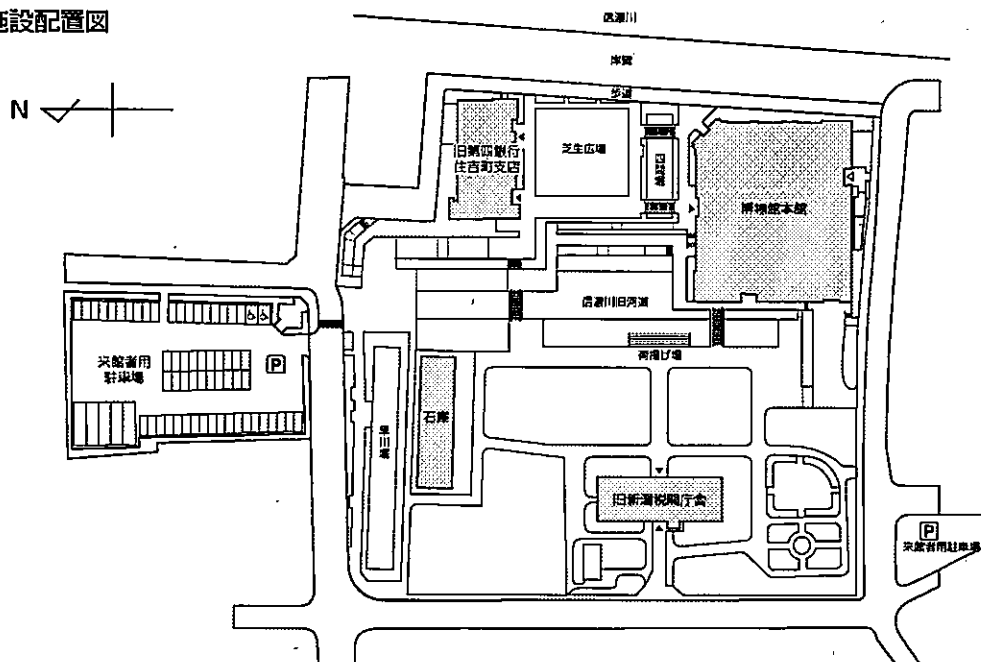
■ 施設配置図1枚

■ 施設平面図

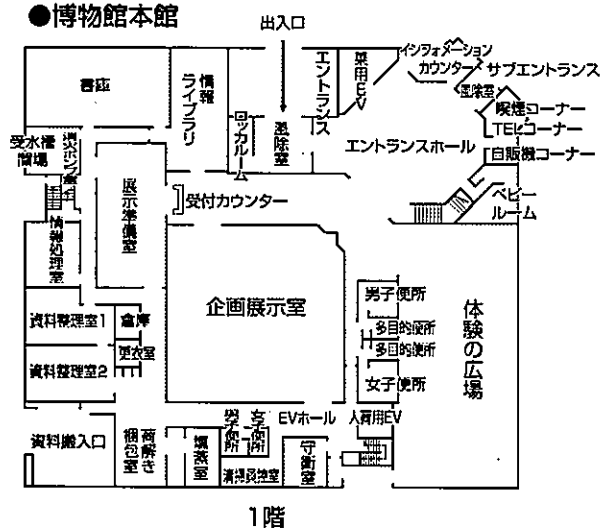
(本館1, 2, 3階, 旧第四1階, 2階, 旧税関, 石庫)

施設図

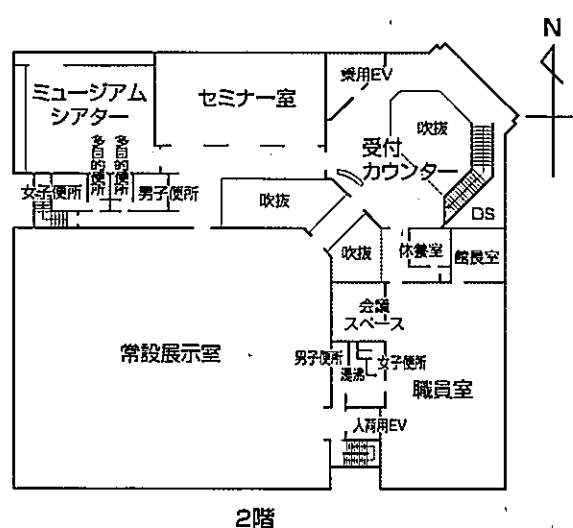
●施設配置図



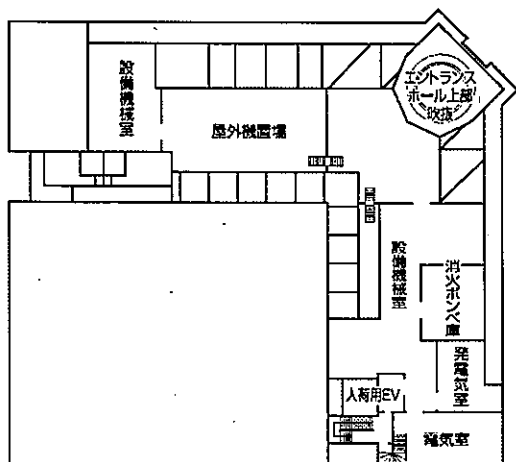
●博物館本館



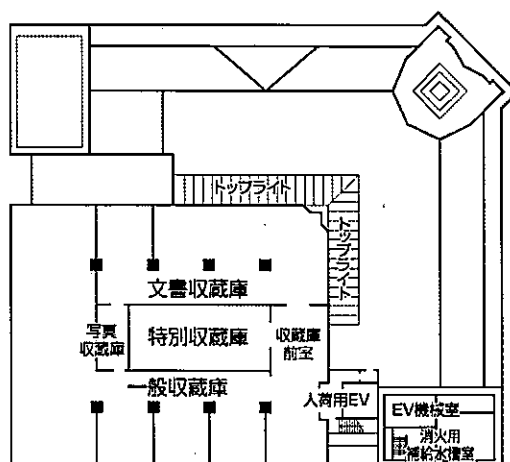
1階



2階

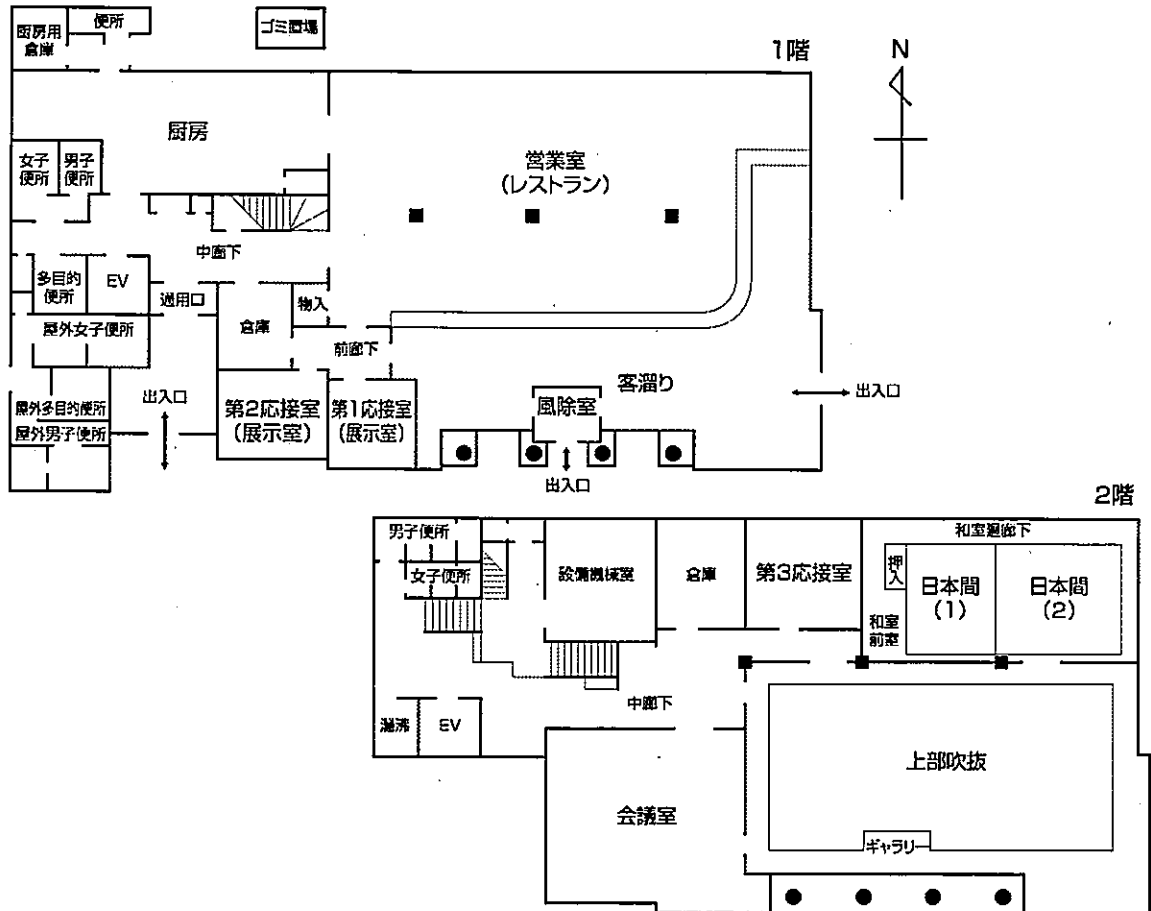


中3階

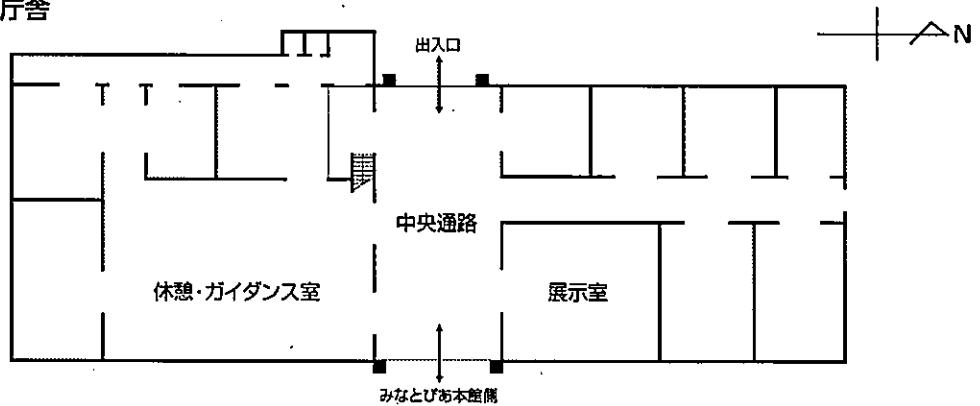


3階

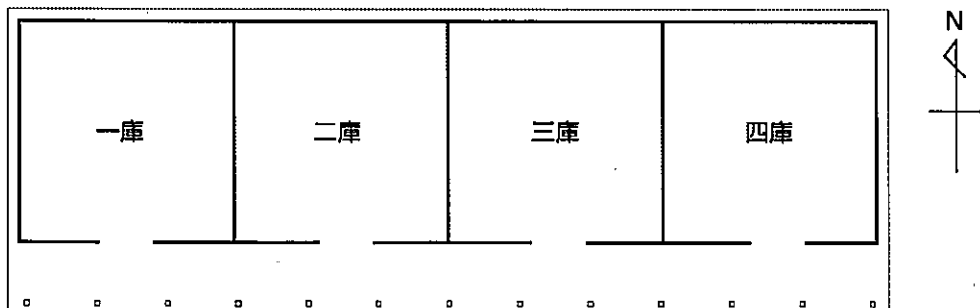
●旧第四銀行住吉支店



●旧新潟税関庁舎



●石庫



Ⅲ 事業概要

1 展示運営事業

人と水との関わりをテーマに新潟市の歴史を紹介し、学芸員やボランティアによる展示解説を行うとともに、近世の展示コーナー3か所を展示替えした。

(1) 常設展示

新潟は日本海や信濃川、阿賀野川、大小の潟湖に囲まれ、またかつては市街地を縦横に堀がめぐり、古くから「水の都」とうたわれてきた。

常設展示は、水害を克服しつつ、農業や漁業、水運などさまざまに水の恵みを享受し繁栄してきた新潟の歴史を実物資料やジオラマ、映像などを利用し、わかりやすく紹介している。

(2) ミュージアムシアター

新潟の歴史や人物、民話などを題材にしたオリジナル映像として、水を切り口に新潟の6千年の歴史を概観する「新潟・水の記憶」、初代新潟奉行川村修就の目から見た当時の新潟人の風俗を紹介する「あまのてぶり」、蒲原地方に伝わる黒鳥兵衛の物語をCGにより迫力ある映像に仕立てた「黒鳥伝説」の3本を上映している。

2 企画展示事業

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした企画展示を実施した。今年度は昨年度末から継続する開館10周年記念特別展をはじめ、計4本の企画展を開催した。

(1) 開館10周年記念「大新潟湊展」

会 期:平成26年3月21日(金)～5月18日(日)

日 数:51日間

主 催:新潟市歴史博物館、新潟日报社、NST

協 力:国土交通省北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所、一般社団法人新潟港振興協会

後 援:朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO

観 覧 料:一般600円 大学・高校生400円
小・中学生200円

観覧者数:5,908人

概 要:多くの廻船でにぎわった江戸から明治期の新潟湊をテーマとし、県内外に所在する新潟と深くかかわる資料を集め展示をし、新潟湊の役割や特色を体系的に明らかにした。



関連事業◇展示解説会(毎週日曜日)

担当学芸員が午後2時から実施

◇ミニ講座「展示古文書の解説」(全2回)

講 師:安宅俊介(当館学芸員)

日 時：4月26日（土）PM2：00～2：30

5月17日（土）PM2：00～2：30

会 場：本館2階セミナー室

参加費：無料

参加者：30人（4/25）、15人（5/17）

◇講演会

1)「湊町新潟に生きた人々」

講 師：伊東 祐之(当館副館長)

日 時：3月22日（日）PM1：30～3：00

会 場：本館2階セミナー室

資料代：100円

参加者：86人

2)「日本海海運と新潟湊」

講 師：原 直史(新潟大学教授)

日 時：5月11日（日）PM1：30～3：00

会 場：本館2階セミナー室

資料代：100円

参加者：100人

△体験イベント

「みなとを船で見てみよう」

国土交通省の港湾業務艇「あさひ」に乗船し、同省北陸地方整備局職員
の解説を聞きながら新潟西港内をめぐった。

(2) 企画展「新潟地震」展

会 期：平成26年6月14日（土）～8月24日（日）

日 数：64日間

主 催：新潟市歴史博物館、新潟日報社

協 力：新潟大学災害・復興科学研究所、
長岡市立中央図書館文書資料室

後 援：朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、
読売新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟
支局、産経新聞新潟支局、NHK 新潟放送
局、BSN 新潟放送、TeNY テレビ新潟、
UX 新潟テレビ 21、エフエムラジオ新潟、
FM PORT 79.0、FM KENTO

観 覧 料：一般500円 大学生・高校生300円
小・中学生200円

観覧者数：6,681人

概 要：新潟地震発生から50年を機に、新潟地震の
体験や復興を記録した資料を、資料が残され
たエピソードとともに紹介した。会期中に講
座や映像上映会、液状化の仕組みを知る体験
イベントを行った。



関連事業 ◇ 展示解説会（毎週日曜日）

担当学芸員が午後2時から実施

◇ 講座「新潟地震映像上映会」（全2回）

内 容：「新潟地震」「復興のあゆみ」などの映像を上映。※2回とも同じ

日 時：6月28日（土）PM1：30～PM3：00

7月26日（土）PM1：30～PM3：00

会 場：本館2階ミュージアムシアター

参加者：33人（6/28）、27人（7/26）

◇ 講演会「歴史的地震研究の最前線」

講 師：ト部厚志（新潟大学災害復興科学研究所准教授）

日 時：7月20日（日）PM1：30～PM3：00

会 場：本館2階セミナー室

参加費：100円（資料代）

参加者：51人

◇ 体験イベント

「実験！新潟地震—『エッキーをつくろう』—」

内 容：本格的な液状化実験装置を体験し、ペットボトルを使った簡単な液状化実験装置を作った。

日 時：8月10日（日）PM2：00～3：30

会 場：本館1階たいけんのひろば

参加者：9人

(3) 第11回むかしのくらし展「冬のにいがた」

会 期：平成26年9月6日（土）～12月23日（日）

日 数：92日間

主 催：新潟市歴史博物館

観 覧 料：無料

観覧者数：10,635人

概 要：明治時代から昭和30年代頃までの冬の新潟の生活について、館蔵資料、借用資料を展示して紹介した。会期中は企画展関連イベントとして、石臼体験、機織り体験、もちつき大会を実施した。

関連事業 ◇ 体験イベント

1) 「石臼でお団子を作ろう」

内 容：石臼を使って粉を引き、その構造を知り、粉食文化について学んだ。

日 時：9月20・21日（土・日）AM2：00～3：30

会 場：本館1階たいけんのひろば



参加者：58人（両日計）

2) 「高機体験」

内 容：高機を体験しながら、布が出来上がる仕組みを学んだ。

日 時：11月8・9日（土・日）AM2:00～4:00

会 場：本館1階たいけんのひろば

参加者：6人（11/8）、4人（11/9）

(4) 合併100周年記念展「沼垂」

会 期：平成27年1月10日（土）～2月8日（日）

日 数：26日間

主 催：新潟市歴史博物館、新潟市中央区、
新潟市・沼垂町合併100周年記念事業実行
委員会

観 覧 料：無料

観覧者数：3,491人

概 要：新潟市と沼垂町合併100周年を記念して実施。
当館所蔵資料を中心に、歴史資料や美術作品
を交え、古代から現代までの沼垂の一連の歴
史を紹介した。毎週実施する展示解説のほか、
会期中に、当館副館長および学芸員による2
回の講演会を行った。



関連事業 ◇ 展示解説会（毎週日曜日）

担当学芸員が午後2時から実施

◇ 講演会

1) 「川を越えて－沼垂と新潟－」

講 師：伊東 祐之（当館副館長）

日 時：1月17日（土）PM1:30～3:00

会 場：本館2階セミナー室

資料代：100円

参加者：130人

2) 「沼垂のまつりと民俗」

講 師：渡邊 久美子（当館学芸員）

日 時：1月31日（土）PM1:30～3:00

会 場：本館2階セミナー室

資料代：100円

参加者：78人

◇ 同時開催関連事業

「新潟市・沼垂町合併100周年記念パネル展」

内 容：新潟市・沼垂町合併100周年記念事業実行委員会が記念事業の一環と
して製作した合併についての解説パネルを展示した。

会 場：旧新潟税関庁舎内

3 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

(1) 体験の広場

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムや茶の間の押入スペースを使った展示(展示替え4回/年)を行なった。

①体験プログラム

◆26年度に実施したたいけんプログラム				
主旨・目的・内容		プログラムによっては、リピーターも多く、一定の参加者層が見込まれる事業となっている。		
		これらは開館以来毎週に様々なプログラムを企画・実施し、毎回多数の参加者の好評を得たことが来館者やリピーター獲得という結果として現れていると考える。近年は、ボランティアによる企画が充実してきている。		
4	5	(土)	■さらさら砂絵	8
	6	(日)	■さらさら砂絵	28
	12	(土)	■糸つむぎ	10
	13	(日)	■糸つむぎ	14
	19	(土)	湊展体験イベント：みなと見学クルーズ	55
	27	(日)	■むかしのあそび すごろくづくり	4
	29	(火祝)	■むかしのあそび こいのぼりづくり	25
5	3	(土)	★子育て支援ネイチャーゲーム 春	15
	4	(日)	■むかしのあそび 愛のかぶと	25
	5	(月)	■むかしのあそび 江戸紋切	12
	6	(火)	■むかしのあそび 紙トンボ	22
	11	(日)	■ワラのコースター作り	3
	17	(土)	■機織りたいけん(高機)	6
	18	(日)	■ボラフェス 紙ヒコーキ・紙芝居・割り箸鉄砲・凧上げ・紙けん玉・紙トンボ・砂絵	133
	24	(土)	もめん部	4
6	31	(土)	■さらさら砂絵β	8
	1	(日)	■さらさら砂絵	3
	14	(土)	菓子型でマグネット	12
	15	(日)	菓子型でマグネット	13
7	29	(日)	菖蒲塚古墳ペーパークラフトを作ろう	2
	5	(土)	■ワラ紙づくり/七夕かざり	11
	12	(土)	「青写真」で手ぬぐいづくり(サイアナタイプ)	4
	13	(日)	「青写真」で手ぬぐいづくり(サイアナタイプ)	6
7	19	(土)	風鈴を作ろう	15

	20	(日)	風鈴を作ろう	20
	26	(土)	もめん部	10
	26	(土)	紙芝居を作って楽しもう	7
	27	(日)	★子育て支援ネイチャーゲーム 夏	50
8	2	(土)	たいけん塩づくり①	11
	6	(水)	菖蒲塚古墳ペーパークラフトを作ろうR	9
	8	(金)	ボンボン船	28
	9	(土)	紙コプターを作ろう	30
	10	(日)	地震展関連:実験!新潟地震-『エッキーをつくろう』-	9
	17	(日)	■あかりづくり	13
	23	(土)	拓本たいけん	8
	24	(日)	拓本たいけん	4
			たいけん塩づくり②(1)	9
	30	(土)	たいけん塩づくり②(2)	11
	31	(日)	明治時代の写真プリント(アルビューメンプリント)	4
9	7	(日)	ワラのコースター作り	11
	20	(土)	くらし展イベント 石臼でおだんごづくり	27
	21	(日)	くらし展イベント 石臼でおだんごづくり	31
	27	(土)	もめん部	9
10	5	(日)	■むかしのあそび	5
	12	(日)	ミニ埴輪作り	6
	19	(日)	■感謝祭	269
	26	(日)	★どんぐりであそぼう	81
11	2	(日)	★子育て支援ネイチャーゲーム 秋	31
	3	(月)	ミニ埴輪作り	4
	8	(土)	くらし展イベント 高機体験	6
	9	(日)	くらし展イベント 高機体験	4
	15	(土)	実習生プログラム 菓子型マグネット	4
	16	(日)	実習生プログラム 菓子型マグネット	8
	22	(土)	もめん部	14
	30	(日)	★わらぞうり①	9
12	7	(日)	★わらぞうり②	8
	14	(日)	■わら紙ではがき作り	8
	20	(土)	くらし展イベント もちつき	180
	21	(日)	★クリスマスキャンドル作り	18
1	4	(日)	■むかしのあそび お正月遊び	29
	11	(日)	■むかしの遊び	8
	18	(日)	食べ物で絵の具をつくろう	9
	24	(土)	もめん部	6
	25	(日)	★トランスパレント	7
2	1	(日)	★子育て支援ネイチャーゲーム 冬	13
	7	(土)	とんぼ玉作り	5
	15	(日)	■おひなさま	10

	22	(日)	■ワラの小物づくり	18
	28	(土)	バックヤードツアー	10
3	1	(日)	バックヤードツアー	10
	7	(土)	食べ物で絵の具をつくろう	6
	14	(土)	七輪で焼き芋を焼こう	13
	21	(土)	■江戸紋切り	6
	28	(土)	■高機で裂き織りをしよう	2
	29	(日)	■高機で裂き織りをしよう	3
参加者数合計				1549
★…ボランティア実施 ☆…外部講師による実施 ■…企画展関連プログラム (開催実績…75回)				

(2) 博・学連携事業

小学校・中学校等の見学に際し、展示解説等の対応をして連携し当館学芸員の寄附講座を開講するとともに、各大学生の実習生を受入れ講義指導を行った。

① 学校の見学（職場体験を含む）

・学校単位の延べ学校数 123校 6656人

〈具体的な取り組み〉

- ・学校側との事前打ち合わせ・ワークシートの共同開発
- ・見学時のワークシート開発
- ・常設展示・企画展示解説
- ・体験の広場でのプログラムの提供・実施
- ・総合学習などの質問への対応
- ・先生方の教材開発時の資料提供・相談対応

平成26年度 博学連携 学校対応実績リスト

日付	学校	学年	人数	内容	見学場所	対応有無
4/15	小合中学校		20	班別学習	常設・企画・その他	自由観覧
4/16	岩船中学校		16	グループ研修	常設・企画・その他	自由観覧・質問対応
4/18	北越高校	1年	350	見学	敷地	自由観覧
4/23	湊小学校	6年	14	見学	常設・企画	常設ボラ・企画学芸解説
4/25	岩室中学校	2年	6	職場見学	常設	学芸対応
5/1	東新中学校	2年	24	見学	常設・税関	自由観覧
5/2	翠江高校	4年	15	見学	常設・企画	自由観覧
	長岡市立西中学校	2年	35	昼食	敷地	自由観覧
5/8	会津若松第二中学校		109	見学	常設	自由観覧
5/9	新津第二小学校	3・4年	121	見学	常設・敷地・シアター	常設ボラ・自由観覧
	県立長岡聾学校		6	見学	常設・敷地・税関・シアター	常設ボラ
5/13	臼井中学校	1年	14	見学	常設	自由観覧
5/14	藤見中学校	2年	17	見学	常設・敷地	学芸対応

5/15	京ヶ瀬中学校	2年	16	見学	常設・企画	学芸質問対応
5/20	上山中学校	2年	5	見学	常設	学芸質問対応
5/21	分水中学校	2年	31	見学	常設	常設ボラ
	巻西中学校	2年	24	見学	常設	自由観覧
5/22	喜多方市立第一小学校		6	見学	常設	自由観覧
5/23	五泉市立山王中学校	2年	30	見学	常設・敷地	自由観覧
5/27	見附市立中学校	2年	37	見学	常設	学芸質問対応
5/29	臼井小学校	3・4年	47	見学	常設・体験	ボランティアガイド
6/6	白山小学校		300	休憩	敷地	
6/10	立仏小学校	3年	60	休憩	敷地	
6/15	新潟大学		11	資料受け取り		
6/20	柳都中学校	1年	99	見学	企画・税関	学芸対応
7/4	岡方第二小学校	3年	15	見学	常設・体験	自由見学
	小須戸小学校	3年	44	見学	敷地・常設	ボランティアガイド
7/8	藤見中学校	1年	18	見学	常設・シアター	自由見学・学芸対応
	南浜小学校	3年	15		敷地・体験	自由見学
	柳都中学校	3年	10	見学	常設・企画	学芸対応
	柳都中学校	2年	2	職場体験		学芸対応
7/9	柳都中学校	2年	2	職場体験		学芸対応
7/10	下山小学校	3年	128	見学	常設・シアター	ボランティアガイド
	阿賀野市立 駒林特別支援学校		8	見学	常設・シアター	自由見学
	早通小学校	3年	116	見学	常設・シアター・体験	ボランティアガイド
	柳都中学校	2年	2	職場体験		学芸対応
7/15	小新中学校		7	見学	常設・企画	自由見学
7/17	大通小学校	3年	81	見学	常設・シアター・体験	ボランティアガイド
	巻南小学校	3年	61	見学	常設・体験	ボランティアガイド
7/18	高志中等教育学校	1年	16	見学	企画	学芸対応
	高志中等教育学校	2年	5	職場体験		学芸対応
	紫竹山小学校	5年	109	見学	常設	ボランティアガイド
7/23	高志中等教育学校	2年	5	職場体験		学芸対応
7/24	関屋小学校	6年	25	見学	常設・企画	ボランティアガイド
8/5	宮浦中		23	見学	常設・企画	ボランティアガイド
8/19	山の下中学校	2年	1	職場体験		学芸対応
8/20	山の下中学校	2年	1	職場体験		学芸対応
8/21	山の下中学校	2年	1	職場体験		学芸対応
9/5	沼垂小	3年	61	見学	常設・体験・シアター	ボランティアガイド
9/11	内野小学校	3年	129	見学	体験・企画	学芸、ボラ対応
9/12	阿賀小学校	3年	41	見学	企画・体験	学芸、ボラ対応
9/17	長岡市立中島小学校	4年	41	見学	常設・敷地	
9/18	葛塚東小	4年	121	見学	常設・シアター	ボランティアガイド
	県立聾学校中等部		4	見学		
9/20	新津中学校		23	見学・昼食	敷地	

9/25	青山小学校	3年	70	見学	企画	学芸対応
	中之口西小学校	3年	25	見学	企画・常設・体験	学芸対応
9/30	上山小学校	5・6年	250	見学	常設・体験・企画	自由観覧
10/1	南万代小学校		83	昼食	敷地	自由観覧
10/2	巻北小学校	3年	89	見学	企画・体験・シアター	学芸・ボラ対応
10/3	大鷲小学校		120	休憩	敷地	
10/7	村上市岩船小学校	4年	34	見学	常設・企画・体験	学芸・ボラ対応
10/10	西内野小学校	4年	110	見学	常設・シアター	ボランティアガイド
10/15	白根小学校	3年	81	見学	常設・企画・体験	学芸・ボラ対応
	黒崎中学校	1年	30	総合学習	常設	学芸対応
	五十嵐小学校	4年	136	見学	常設・企画	学芸・ボラ対応
10/16	紫竹山小学校	4年	117	見学	常設・企画・体験・シアター	ボランティアガイド
	新関小学校	3年	20	見学	常設・企画	学芸対応
	結小学校	3年	126	見学	常設・企画・体験	学芸・ボラ対応
10/21	東青山小学校	3年	98	見学	常設・企画・体験	ボランティアガイド
10/22	荻川小学校	3年	119	見学	常設・企画・体験・シアター	学芸・ボラ対応
10/24	坂井輪小学校	4年	129	水害の学習	常設・企画・体験	学芸・ボラ対応
10/28	竹尾小学校	3年	39	見学	企画・体験	学芸・ボラ対応
10/30	入船保育園		70		芝生	
11/5	東曾野木小	3年	49	見学	常設・企画・体験	学芸対応(企画)
	長岡市立浦瀬小学校	4年	18	見学	企画	自由観覧
	下山中学校	2年	13	見学→質疑		学芸対応
11/6	出雲崎中学校	2年	6	職場訪問	常設	学芸対応
11/7	新津第三小学校	3年	131	見学	常設・企画・体験	学芸・ボラ対応
	中之口東小学校	3年	29	見学	企画・体験	学芸・ボラ対応
11/11	東山ノ下小学校	3年	161	見学	企画	学芸対応
	豊照小学校	4年	15	見学	常設・企画・体験	ボランティアガイド
11/13	濁川小学校	6年	25	見学		
	味方小学校	3年	35	見学	企画・体験	学芸・ボラ対応
11/14	浜浦小学校	3年	67	見学	企画	自由見学
	三条市立大浦小学校	6年	12	見学	常設・体験・税関	自由見学
11/18	鳥屋野小学校	4年	145	見学	常設・企画・体験・シアター・敷地	学芸・ボラ対応
	漆山小学校	4年	34	見学	常設・企画・体験	学芸・ボラ対応
11/21	山潟小学校	3年	73	見学	常設・企画・体験	学芸・ボラ対応
	曾根小学校	4年	37	見学	常設・企画	学芸・ボラ対応
11/28	亀田小学校	3年	98	見学	常設・企画・MT	自由見学
12/2	大野小学校	4年	63	見学	常設・企画・MT	学芸対応
	味方小学校	4年	30	見学	常設・MT	自由見学
12/3	南中野山小学校	4年	82	見学	常設・たいけん・企画	学芸・ボラ対応
12/4	曾野木小学校	4年	60	見学	常設・MT	ボランティアガイド
	長岡市立聾学校中等部	2年	6	見学		自由見学
	江南高等特別支援学校		24	見学		自由見学

12/5	五十嵐小学校	3年	129	見学	常設・企画・たいけん・MT	学芸・ボラ対応
12/9	小針小学校	4年	132	見学	常設・企画・たいけん	ボラ対応
12/11	豊栄南小学校	3・4年	26	見学	企画・たいけん	自由見学
	新潟小学校	3年	103	見学	常設・企画・たいけん	学芸・ボラ対応
	満日小学校	3・4年	15	見学	企画・たいけん	学芸・ボラ対応
1/8	万代長嶺小学校	5年	49	見学	常設・MT・セミナー室	学芸質問対応
	木山小学校	3年	15	見学	常設・たいけん・MT	ボラ対応
1/15	両川小学校	3年	25	見学	常設・たいけん	ボラ対応
1/21	上所小学校	3年	113	見学	常設・たいけん	ボラ対応
1/22	関屋小学校	3年	22	見学	たいけん・MT	ボラ対応
1/28	南万代小学校	3年	80	見学	常設・たいけん	学芸・ボラ対応
1/29	大鷲小学校	3年	10	見学	常設・たいけん・ライブラリ	ボラ対応 学芸質問対応
1/30	女池小学校	3年	166	見学	常設・たいけん・セミナー室	ボラ対応 学芸講話
2/6	入舟小学校	3年	38	見学	常設・たいけん	ボラ対応 学芸質問対応
2/13	濁川小学校	6年	6	見学	常設	自由見学
2/26	大夫浜小学校	3年	38	見学	常設・MT・たいけん	学芸・ボラ対応
2/27	東曾野木小学校	4年	44	見学	常設	ボラ対応
3/4	白山小学校	3年	40	見学	常設・MT	ボラ対応
3/5	小瀬小学校	3年	11	見学	常設・たいけん	学芸対応
	三条市立森町小学校	3年	14	見学	たいけん	ボラ対応
3/11	白南中学校	1年	14	見学	常設	自由見学
3/12	新潟大学付属 新潟小学校	3年	70	見学	常設・MT・たいけん	ボラ対応
3/18	白新中学校	1年	3	職場体験		学芸対応
3/19	白新中学校	1年	3	職場体験		学芸対応
3/20	白新中学校	1年	3	職場体験		学芸対応

注:新潟市内の学校については、市名を省略

◇延べ学校団体来館数 123校 6656人 対応学校数 88校

【内訳】 (うち、市内の学校)
 小学校 76校 71校
 中学校 36校 28校

②大学寄附講義

■目的

新潟大学人文学部で開設している「博物館概論」「博物館資料論」「博物館経営情報論」の理論的な講義に加え、博物館の第一線で業務に携わっている学芸員によるより実践的な内容の講義を実施することにより、当該分野についての学生のより一層の理解と学習意欲の喚起を図り、もって学部教育と資質の高い学芸員の養成に資することを目的として実施した。

■講師の選定等

新潟市歴史博物館から派遣される講師による寄附講義とした。

■講義の実施概要等

- 1) 授業科目名 ミュージアム論 —「みなとぴあ」で博物館を考える—
- 2) 開講時期 平成26年度第2学期(10月～翌年3月)
- 3) 単位数 専門科目で2単位(人文展開Ⅲ種)

■講師及び講義内容

下記「一覧表」のとおり

■講義の運営

事前に実施担当者と新潟市歴史博物館で十分協議し基本的な事項は覚書を取り交わし実施した。

2014(平成26)年度 新潟大学人文学部寄附講義
ミュージアム論—「みなとぴあ」で博物館を考える—

回	月日	曜日	テーマ	担当	概要
1	10月1日	水	みなとぴあという博物館	小林隆幸	講座ガイダンス。みなとぴあはどのような博物館か。だれがどのように運営しているのか。
2・3	10月11日	土	みなとぴあを観る(※)	中村里那	一般来館者の視線で見て、みなとぴあの楽しさを見出す。
4	10月15日	水	資料から歴史を解き明かす	安宅俊介	資料から地域の歴史に関する情報を引き出し、歴史像を結ぶ方法。
5	10月22日	水	資料を整理・保存する	渡邊久美子	資料を後世に伝え、活用できるように情報・資料を整理・保存する。
6	10月29日	水	資料保存環境づくり	森行人	資料保存を目的とした博物館環境づくりの実践。
7	11月5日	水	みなとぴあの情報システム	安宅俊介	みなとぴあの情報関連システムの運用と現状と課題。
8	11月12日	水	みなとぴあをつくる	小林隆幸	みなとぴあの建設の経緯と各施設の特色。
9	11月19日	水	企画展示をつくる	森行人	企画展示の企画・製作から事業評価まで。
10	11月26日	水	体験の広場の実践	渡邊久美子	体験の広場の目的と、体験プログラムの製作から実施までの実際。
11	12月3日	水	ボランティアを受け入れる	中村里那	みなとぴあでボランティアはどのように自己実現しているのか。
12	12月10日	水	みなとぴあの利用者	田嶋悠佑	みなとぴあの諸機能を利用する人たちはどのような人か。どう接すればよいのか。
13	12月17日	水	みなとぴあ地域連携	木村一貫	学校・他施設・地域との連携と、それによって行われる活動。
14・15	1月10日	土	みなとぴあを裏からのぞく(※)	小林隆幸	みなとぴあを博物館で働く人の立場から見直し、評価する。

(※)は、新潟市歴史博物館で実施

③博物館実習

■概要

学芸員を志望する学生が実際に博物館の様々な館務研修を体験し、実践的な知識や技能を習得することを目的として開催した。

新潟市歴史博物館では、平成26年度博物館実習として、a 通年編とb 集中編の二種を設け実施した。

a 通年編…4月から11月までの7ヶ月間（8月を除く）、月2日（土・日）博物館実習を行った。（全14回）

b 集中編…7月29日から8月10日まで博物館実習を行った。（全12回）

■具体的な実習内容

資料収集・管理・保存や展示公開、普及事業等の博物館の根幹に関わる活動のほか、当博物館の特徴である体験の広場における体験プログラムの企画・実施、来館者動向調査をはじめとした博物館マネジメント等について講義と実技を交えて研修した。特に、通年編では課題を設けて、複数回にわたる実習で成果を出す課題研修を行った。

■参加者

a 通年編参加学生 4名（新潟大学）

b 集中編参加学生 3名（東京学芸大学、日本大学、東海大学）

④外国人留学生インターンシップ

■概要

ドイツチュービンゲン大学の学生1名（同志社大学に留学中）をインターンシップとして受け入れ、館務研修を行った。

期間…7月20日から8月3日まで

(3) 講座事業

博物館の調査研究成果を市民に公開し、新潟市の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広い年齢や個人のニーズに対応するため、以下の各講座を実施した。

①博物館講座（全9回）

当館の学芸員が講師となり、調査したことや研究を進めている内容について報告し、参加者とともに考えた。

日 時：4・12月・3月を除く各月の第4日曜日 PM1：30～3：00

会 場：セミナー室ほか

対 象：自由参加（各回定員：先着80名 延べ参加者数：449人）

参加費：100円（資料代：資料のない回は無料）

内 容／

第1回 5月25日 「新潟町会所日記残闕写」（仮）から見た近世中期の新潟町

講 師：伊東 祐之（当館副館長）

第2回 6月22日 「漆を使った暮らしの道具Ⅱ」

講 師：森 行人（当館学芸員）

第3回 7月27日 「近世新潟町屋敷地周縁の土地利用——船囲を中心に」

講 師：安宅 俊介（当館学芸員）

第4回 8月24日 「シリーズ新潟の美術⑥ <スキャンダル>」

講 師：木村 一貫（当館学芸員）

第5回 9月22日 「戦国武士の就職活動—新発田重家の乱従軍者のゆくえ—」

- 講 師：田嶋 悠佑（当館学芸員）
第6回 10月27日「牡丹山古墳発見の意義を考える」
講 師：小林 隆幸（当館学芸員）
第7回 11月24日「まつり・民俗芸能 一研究史の整理と課題一」
講 師：若崎 敦朗（当館学芸員）
第8回 1月26日「芳明筆「新潟町之図屏風」一描かれた新潟の町」
講 師：中村 里那（当館学芸員）
第9回 2月23日「幕末の村」一動揺する村の秩序一」
講 師：若崎 敦朗（当館学芸員）

②くずし字講座（全5回）

これまで、まったく古文書を読んだことのない方に向けた古文書講座を実施した。

日 時：平成26年10月11日から11月8日の毎週土曜日

会 場：セミナー室

対 象：一般成人（定員：各回80名 延べ参加者数：約317人）

参加費：500円（資料代）

内 容／

- 第1回 10月11日 テーマ：「古文書をよむための基本①」
第2回 10月18日 テーマ：「古文書をよむための基本②」
第3回 10月25日 テーマ：「新潟の古文書をよむ①」
第4回 11月 1日 テーマ：「新潟の古文書をよむ②」
第5回 11月 8日 テーマ：「新潟の古文書をよむ③」

③館長講座（全4回）

「古代越後史像の新展開―東西南北からの視線―」をテーマに、館長が企画プロデュースする講師陣が最新の研究成果を講義した。

日 時：平成27年3月1日（日）、8日（日）、15日（日）、22日（日）

会 場：セミナー室

対 象：一般（定員：各回80人 延べ参加者数：394人）

参加費：300円（各回）

内 容／

- 第1回 3月 1日「北方・出羽から見た古代の越後」
講師：熊田 亮介（秋田大学名誉教授）
第2回 3月 8日「西方コシ・ワカサからの古代越後像」
講師：小林 昌二（新潟市歴史博物館館長）
第3回 3月15日「東山道・シナノから見た古代の越後」
講師：田島 公（東京大学史料編纂所教授）
第4回 3月22日「東方陸奥・会津から見た古代の越後」
講師：菊池 芳朗（福島大学教授）

④開館10周年記念講演会

期 間：平成26年7月6日（日）

会 場：新潟市生涯学習センター 映像ホール

主 催：新潟市歴史博物館、新潟市歴史文化課

講 師：一橋大学名誉教授 池享氏「蒲原平野と上杉氏」

参 加 料：無料

参加者数：110人

概 要：当館の伊東祐之副館長による開館10年を振り返る報告に続き、池一橋大学名誉教授による講演会を実施した。氏のご講演では、「蒲原平野と上杉氏」の演題に「謙信を中心に」の副題が加えられ、上杉謙信の話題を中心に講演が進められた。

(4) 情報ライブラリー

所蔵された図書を閲覧するコーナーと、情報システムを利用できるPCが設置されている無料スペースを配置し、1960年代のNEWS映像の閲覧や司書資格保有者によるレファレンスサービスを実施した。

①図書の閲覧

歴史に関する図書を収蔵し、来館する市民の閲覧に供した。

蔵書受入冊数…657冊（平成26年4月1日～27年3月31日）

平成27年3月末現在の蔵書数…48,811冊

②WEBの閲覧

体験プログラム、企画展示など博物館の活動をWEBを通じて、市民の皆さんに積極的に情報発信した。

博物館の資料に関する研究成果のデータベース「情報潟録」、蔵書検索を通じて収蔵資料のデータや新潟の古い写真をインターネットで館外からも閲覧できるサービスを提供した。

③レファレンスサービス

司書資格保有者が利用者の相談に応じて開架、閉架の図書や関係資料、館外資料を紹介した。

(5) ボランティア

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを新たに養成するとともにステップアップ研修を実施する等活動を支援した。また、ボランティア自主活動として、みなとぴあ「写生会」や「みなとぴあフェスティバル」を開催するに当たり、博物館共催事業として支援した。

①活動の概要

■登録者数

全登録者 98人（平成27年3月31日現在）

活動を希望する人は、館職員による研修を受講してもらい実地テストに合格後、活動できるとしている。

■活動

体験の広場、敷地ガイド、常設ガイドの三種類の活動がある。

□常設展示ガイド（ボランティア）

・常設展示室を巡る概要解説を実施

・平成26年度の実績(延べ人数)

活動回数：211回、活動者数：448人、参加者数：5296人

□敷地ガイド（ボランティア）

・博物館敷地にある旧税関、石庫、護岸積み、旧第四銀行住吉町支店、本館(2代目市役所庁舎の建物デザイン)を巡る概要解説を実施

・平成26年度の実績(延べ人数)

活動回数：20回、活動者数：44人、参加者数：526人

□体験の広場ボランティア

- ・休日などに開催される体験活動のサポートを行うほか、自主プログラムによる企画、準備・勉強会なども開催
- ・平成26年度の実績(延べ人数)

活動回数：77回、活動者数：225人、参加者数：2878人

■研修会

○ボランティア先進地視察

日 程：平成26年 11月12日(水)

訪問先：福島県喜多方市

うるし美術博物館、蔵のまちガイド、願成寺、新宮熊野神社など

内 容：類似施設の見学会、案内ガイド方法の事例見学

○ステップアップ研修

日 程：平成26年7月27日(日)／11月23日(日)／27年1月25日(日)

○新規ボランティアの募集・研修の実施

事前見学会 平成27年 2月 8日(日)

常設研修 平成27年 2月28日(土)、3月7日(土)、3月21日(土)

敷地研修 平成27年 2月28日(土)、3月21日(土)

たいけんのひろば研修 平成27年2月14日(土)、21日(土)、3月14日(土)

研修会参加者数：約26人

■広報誌発行などの自主活動

- 「みなとびあボランティアletter」の発行
- 「みなとびあ写真会」及び「みなとびあ開館10周年感謝祭」の開催
- 塔屋見学ガイドツアー

(6) 新潟市立歴史系博物館・資料館懇談会

各館の今年度及び来年度事業を報告してもらうとともに、抱えている問題等情報交換を行うことで共有化を図るとともに解決の糸口を探った。

日 時：平成27年2月27日 PM2:00～4:30

会 場：セミナー室

参加者施設等：北区郷土博物館、江南区郷土資料館、新津鉄道資料館、石油の世界館、しろね大風と歴史の館、曾我・平澤記念館、旧笹川家住宅、中之口先人館、澤将監の館、巻郷土資料館、潟東歴史民俗資料館、岩室歴史民俗史料館、文化財センター・弥生の丘展示館、旧齋藤家別邸、旧小澤家住宅、みなとびあ、歴史文化課

4 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや博物館ニュース『帆橋成林』、年報などの出版物を作成配付したほか、新聞・雑誌等を通じて広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

(1) 自主事業として実施した展覧会・イベント等

①新収蔵品展・収蔵品展

会 期：平成27年2月21日（土）

～3月29日（日）

日 数：31日間

主 催：新潟市歴史博物館

観 覧 料：無料

観覧者数：2,753人

概 要：「新収蔵品展」では、今年度に寄贈いただいた民俗資料・文書資料・メディア資料・美術資料等の中から選定した約60点を選んで展示した。

「収蔵品展」は、「新聞とにいがた」をテーマに、新潟ではじめて発行された明治初期の新聞以降、当館で所蔵する新聞とそれに関する資料を通じて、新聞に映し出された明治から昭和の新潟を紹介した。



(2) 共催事業として実施した展覧会・イベント等

博物館の近隣の市民団体や国・県などと連携し、共催で新潟の港や下町のPRを目的に以下の事業を実施した。

① 第10回みなとびあ 堀とさくらのコンサート2014（新潟市・沼垂町合併100周年記念）

期 間：平成26年4月12日（土）13:30～15:30

会 場：みなとびあ 屋外芝生広場

主 催：新潟下町を良くする会、新潟市歴史博物館

共 催：シティブラス越後、新潟柳都中学校吹奏楽部、NEW GOTTA WINDS

後 援：北部総合コミュニティセンター環境整備部

演 奏：シティブラス越後、津軽三味線（畔上哲史・近松淳子）、新潟柳都中学校吹奏楽部、NEW GOTTA WINDS、ワイピオ&オカピオほか

参 加 料：無料

参加者数：430人

概 要：お天気良く桜が満開の中、舟栄中学校と二葉中学校が統合して誕生した新潟柳都中学校吹奏楽部の演奏でコンサートが始まった。新しい校歌が顧問の二瓶先生の熱唱で紹介され、大きな拍手をもらった。フラダンス・ハワイアン「ワイピオ&オカピオ」が初出演するなど、最後まで観客が楽しめる内容のコンサートであった。

② 「新潟みなと水遊記」各イベントへの参加

期 間：平成26年7月1日（火）～9月30日（火）

会 場：芝生広場 ほか

主 催：新潟みなとまちづくりネットワーク・新潟みなと水遊記2014事務局（構成員として新潟市歴史博物館も参加）

概 要：協賛事業として当館を会場に開催される企画展や各種イベントを「新潟みなと水遊記ネットワーク事業」として、新潟西港区域で開催されるイベントマップ等に掲出した。

③ 第11回夕涼みコンサート ←雨天のため中止

日 時：平成26年8月16日（土）18：00～20：00

会 場：芝生広場

主 催：新潟下町を良くする会、新潟市歴史博物館

後 援：北部コミュニティセンター環境整備部

参 加 料：無料

概 要：シティプラス越後、新潟葦原吹奏楽団、NEW GOTTA WINDS、津軽三味線（畔上哲史）、ワイピオ&オカピオが出演予定だったが、残念ながら、雨天のため中止になった。

④ みなと・しもまち・川祭り2014

日 時：平成26年8月26日（日）18：00～20：00

会 場：みなとびあ敷地

主 催：新潟北部開発協議会、新潟市歴史博物館

参 加 料：無料

参加者数：約650人

概 要：日没とともに手作りの灯籠で照らされ、幻想的な雰囲気に包まれた。今年の灯籠は、花の切り絵が添えられたり、子どもたちは猫の絵を描き加えたり、目新しい灯籠も増えて、来場者から温かい感じがしたと好評であった。旧河道に浮かべた灯籠を眺めながら、過ぎゆく夏のひとときをゆっくりと楽しむことができた。

⑤ みなとびあ10周年感謝祭

日 時：平成26年10月19日（月・祝日） AM10：00～PM3：00

会 場：新潟市歴史博物館敷地内

主 催：新潟市歴史博物館ボランティア、新潟市歴史博物館

参 加 料：無料

参加者数：（出演者）約200人、（来場者）約1000人

概 要：屋外の芝生広場や本館エントランスホールを会場に、音楽や踊りなどのパフォーマンスを披露したほか、旧税関庁舎塔屋見学会、体験広場のプログラム、まちあるき等、みなとびあボランティアスタッフが、大人も子どもも楽しめるプログラムを用意し、みなとびあを会場に1日を楽しむ催しを企画・実施した。

⑥ 文化財保存新潟県協議会「歴史講演会」

日 時：平成26年7月19日（土）PM1：30～4：30

会 場：セミナー室

主 催：文化財保存新潟県協議会

共 催：新潟市歴史博物館

概 要：会員や市民を対象に、今回は「災害と考古学～遺跡から災害をどう学ぶか、災害から遺跡をどう守るか」をテーマに総会・講演会を開催した。

講演：「遺跡に刻まれた災害の痕跡～群馬県の遺跡に見る火山噴火と地震災害～」

講師：原雅信氏（群馬県埋蔵文化財調査事業団）

報告：「東日本大震災の復旧・復興にともなう埋蔵文化財発掘調査の支援状況と課題～宮城県への派遣経験から～」

講師：高橋保雄氏（新潟県埋蔵文化財調査事業団）

参加料：500円（資料代）

参加者数：約80人

(3) 貸し館の形態で協力した事業・イベント等

① ‘14新潟ロードレース大会

日時：平成26年4月20日（日）

会場：博物館敷地内通過

主催：新潟日报社，新潟市陸上協議協会

後援：新潟市教育委員会，新潟市体育協会

内容：信濃川河畔を主なコースとしたロードレースの通過コースとなった。

② 湊まち歴史ウォーク2014

日時：平成26年5月24日（土）・25日（日）

会場：芝生広場ほか

主催：新潟県ウォーキング協会、新潟日报社、NST

共催：日本ウォーキング協会

内容：平成19年から新潟港の開港140年記念行事として始まり，本年度もテーマを設けて市内の歴史ある史跡を踏査し，港全体の歴史や文化などを理解してもらう事業の視察（集散）会場となった。

③ 第52回日本現代工芸新潟会展

日時：平成26年5月24日（土）～6月1日（日）

会場：企画展示室

主催：現代工芸新潟会，新潟日报社

後援：新潟県，新潟市，新潟県商工会議所連合会，（社）現代工芸美術家協会，NHK新潟放送局，BSN新潟放送，NST，TeNYテレビ新潟，UX新潟テレビ21，新潟日報美術振興財団

内容：列品の解説会，作品展示会，特別展示

④ 東京税関新潟支署保管証券展示会

日時：平成25年8月7日（木）

会場：旧税関庁舎展示室

主催：東京税関新潟支署

内容：第二次大戦終戦時に引揚者から預かった通貨，証券類の返還式と返還促進のため，当館で報道向けの公開と一般公開を行なう会場となった。

⑤ 新潟の戦争の記憶を辿るバスツアー

日時：平成26年8月23日（土）

会場：セミナー室，常設展示室（戦争展示コーナー）

主催：新潟市（総務部総務課）

内容：昭和20年8月10日に、新潟港停泊中の船舶を主な目標とした大規模な銃爆撃があった。新潟港と戦争の記憶を巡りながら、港と戦争の歴史を学ぶツアーの一環として当館も組み込まれた。

⑥ 第32回 新潟シティマラソン

日 時：平成26年10月12日（日）
会 場：博物館敷地内通過
主 催：新潟市・新潟市教育委員会・新潟市陸上競技協会・財団法人新潟市体育協会・新潟
シティマラソン実行委員会
主 管：新潟市陸上競技協会
内 容：新潟マラソン大会の名称を22年から「新潟シティマラソン」に変更し、砦谷小路、
萬代橋をはじめとした市街地や信濃川、日本海など豊かな水辺を走る大会が敷地内を
通過するコースとなった。参加者規模は10,000人にもものぼる。

(4) その他 広報・地域連携を目的に開催を支援した事業・イベント等

①えんでこ（まち歩き）

日 時：平成26年5月17日（土）～11月1日（土）（32回の内6回）
会 場：芝生広場（集散場所）
主 催：中央区地域課
内 容：シティガイドと博物館（みなとぴあ）を出発、市民参加による「まち歩き行事」の
開催を側面支援した。

②「おんどこどん！ミッキー音頭プロモーションツアー」

日 時：平成26年6月8日（日）
会 場：芝生広場・左岸緑地
内 容：東京ディズニーランドで開催する「おんどこどん！ミッキー音頭」のプロモーション
ツアーの新潟公演が当館で開催され、会場として協力した。

③新潟光の饗宴～プロジェクションマッピング

日 時：平成26年4月29日（火）～5月6日（火）
会 場：芝生広場
主 催：新潟市文化政策課
内 容：二代目新潟市庁舎の外観をモチーフに建造された当館の壁面に映像を投影した。趣
ある建物と現代的なアート映像との融合を楽しんでいただいた。
参 加 料：無料
参加者数：約68,000人

(5) みなとぴあファンクラブ

■目的

- ・博物館の設置目的を理解し、その活動に協力すること。
- ・会員の新潟市の歴史や文化に関する教養を深めること。
- ・会員相互及び会員・職員の親睦を深めること。

■主な事業

- ・常設展及び、博物館主催の企画展観覧料の割引（2割引）。
- ・博物館ニュース等の博物館情報の配布。
- ・博物館主催の展覧会等の解説会の開催。
- ・史跡探訪ツアーの開催。

■年会費等

- ・年会費は600円とし、参加費の必要な事業に参加する場合は、その都度納める。
- ・この会は、毎年10月1日から翌年9月30日までを1年度とする。

■会の発足

- ・この会は、平成19年10月1日からとする。

■平成26年度の活動（4月～3月）等

①ファンクラブ会員の募集

- ・平成26年度 同年10月1日～更新手続・新規会員募集
(会員数134名：平成27年3月31日現在)

②ファンクラブ通信の発行

- ・35号～39号及び号外を発行

③企画展鑑賞会

- ・実施日：「新潟地震展」「冬のにいがた」各企画展の開幕日

④ファンクラブ講座「明治の新潟町の写真を見る」

- ・実施日：平成26年6月1日（日）
- ・内 容：明治10年前後の写真30枚程を地図や近年の写真と比べながら、撮影場所や年代を推定した。
- ・参加者：11名

⑤館長と行くバスツアー「庄内の古墳と城柵巡り」

- ・実施日：平成26年6月28日（土）
- ・行き先：山形県鶴岡市・酒田市
- ・参加費：5,500円（バス代・昼食代・資料代・保険料等）
- ・参加者：40名

⑥まち歩き

第13回 新潟まちあるき「野外彫刻めぐりー白山公園周辺」

- ・実施日：平成26年10月25日（土）
- ・行き先：市役所まわり・白山公園・陸上競技場・音文会館 等
- ・参加費：200円（保険料・資料代）
- ・参加者：4名

⑦ みなとびあファンクラブ「館長講演会」

- ・実施日：平成27年2月15日（日）PM1：30～3：30
- ・会 場：セミナー室
- ・演 題：「古代史上における城の山・牡丹山の新知見」
- ・参加費：無料
- ・参加者：29名

5 調査研究事業

市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、日常的に資料を調査した。また、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、そうした成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要』11号にまとめた。

(1) 『新潟市歴史博物館研究紀要』第11号の刊行

博物館の開館までの研究成果と、開館10年目の企画展調査・博物館活動の成果を踏まえて、学芸員が研究論文等を執筆した。

(2) 重点テーマの調査研究

当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」についての調査を重点的に行った。

(3) 重点テーマ研究促進等のための専門図書の収集

本格的な重点テーマ研究等を進めていくため、必要となる専門図書を購入した。

6 資料整理・保存事業

寄贈された歴史・民俗・美術・図書・メディア等の資料を長期的に保存・活用するため、下記の事業を行った。

(1) 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のための燻蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

また、東日本大震災の被害を受けた地域への文化財レスキューは、関係する博物館や施設との連携を図りながら対応した。

(2) 資料整理

歴史的資料を保存管理していくため、資料情報の調査・記録の運用と資料の養生を行った。

(3) 燻蒸

博物館防虫対策のため、燻蒸を実施した。

◇期間 平成26年6月3日～6月10日の8日間

(4) 受入・購入した資料等

◇平成26年度 受入 約650件

購入 0件

(資料の種類：民具、図書、絵画、歴史資料など)

7 刊行物

(1) 図録

①『大新潟湊展』 A4判104頁

②『新潟地震展』 A4判 48頁

(2) 紀要

①『新潟市歴史博物館研究紀要』第11号A4判 64頁

(3) その他

①「博物館ニュース『帆檣成林』vol.31」A4判8頁

②「博物館ニュース『帆檣成林』vol.32」A4判8頁

③「博物館ニュース『帆檣成林』vol.33」A4判8頁

Ⅳ 来館者の状況

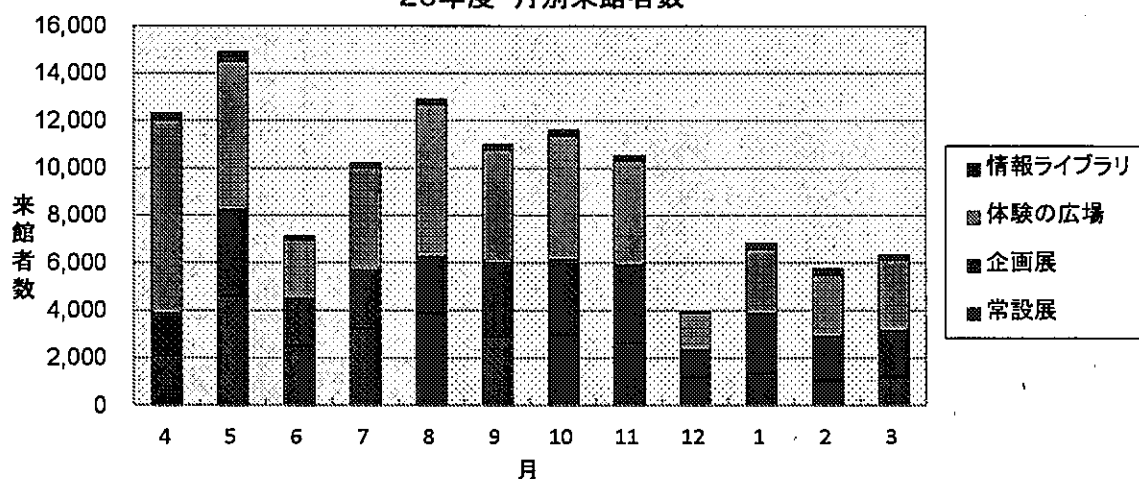
1 来館者数の推移

平成26年度 歴史博物館 来館者内訳

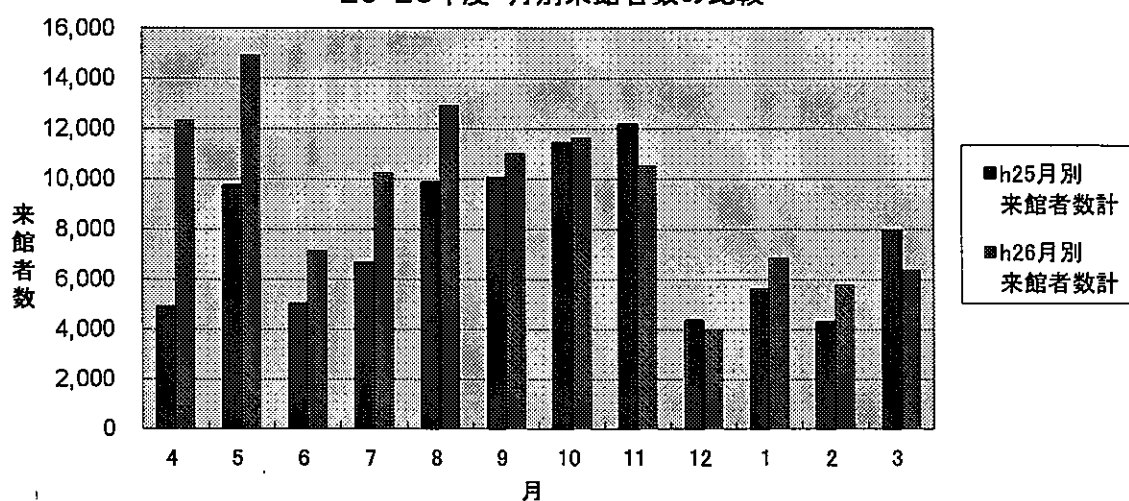
○月別来館者数

月	開館日数	常設展	企画展	体験の広場	情報ライブラリ	h26月別 来館者数計	1日平均 来館者数	備考
4	27	2,097	1,775	8,166	281	12,319	456	
5	27	4,622	3,629	6,247	411	14,909	552	
6	20	2,532	1,965	2,472	166	7,135	357	
7	27	3,261	2,469	4,283	236	10,249	380	
8	28	3,904	2,360	6,453	207	12,924	462	
9	25	2,930	3,098	4,777	194	10,999	440	
10	27	2,997	3,149	5,248	230	11,624	431	
11	26	2,668	3,270	4,402	182	10,522	405	
12	22	1,216	1,118	1,561	90	3,985	181	
1	24	1,391	2,475	2,729	261	6,856	286	
2	19	1,080	1,844	2,579	267	5,770	304	
3	25	1,242	1,925	2,962	236	6,365	255	
計	297	29,940	29,077	51,879	2,761	113,657		

26年度 月別来館者数

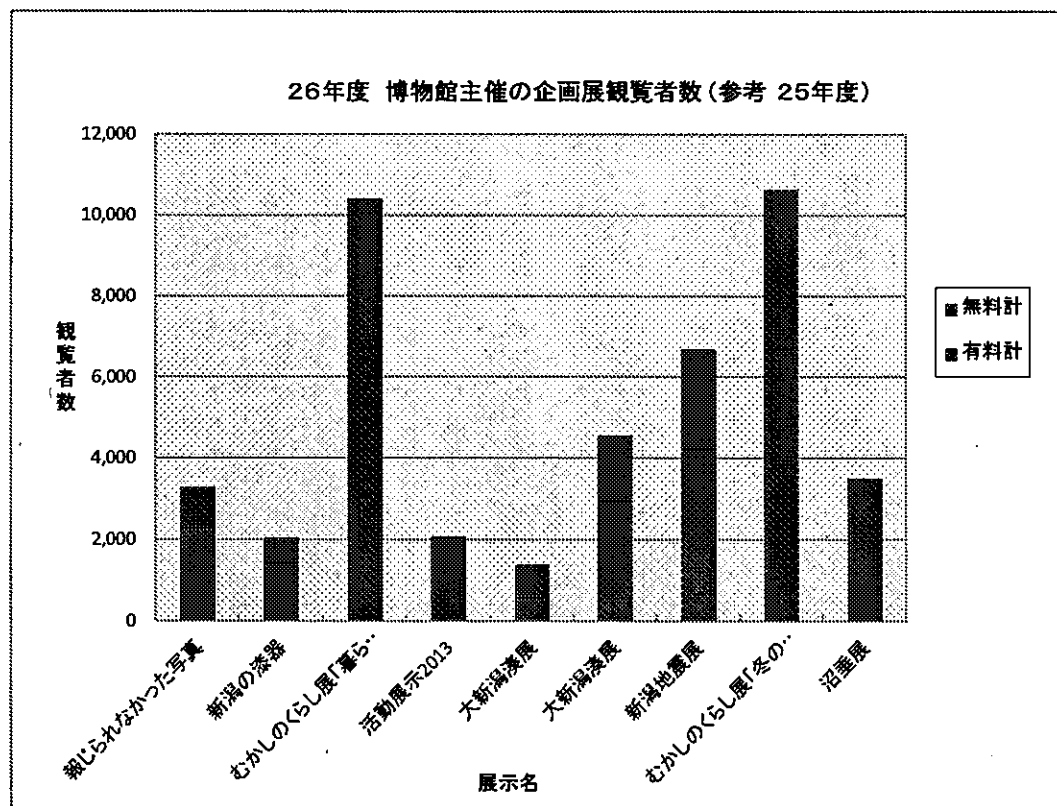


25・26年度 月別来館者数の比較



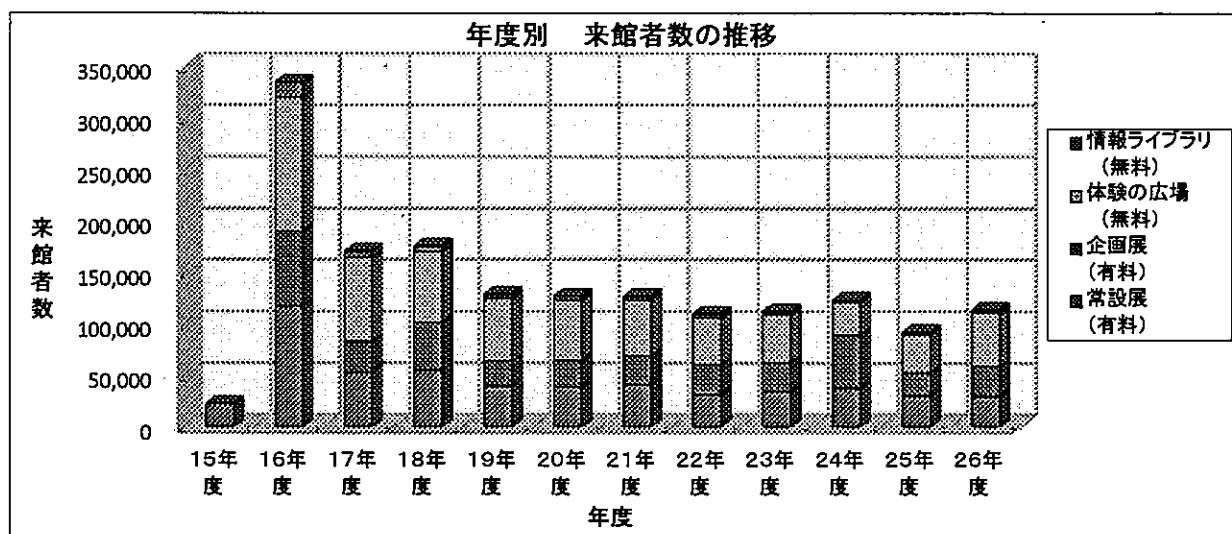
26年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 25年度）

	企画展名	会期	合計	有料計	個人	団体	無料計	うち授業	うち小中 土日無料
25 年度	報じられなかった写真	H25.4.27～6.9	3,285	2,289	1,867	422	996	417	109
	新潟の漆器	H25.7.20～9.1	2,030	1,429	1,015	414	601	31	96
	むかしのくらし展「暮らしと 住まいの道具」	H25.9.14～11.24	10,388	0	0	0	10,388	2,865	588
	活動展示2013	H25.12.7～ H26.1.26	2,065	0	0	0	2,065	357	79
	大新潟湊展	H26.3.21～3.31	1,368	571	393	178	797	0	30
26 年度	大新潟湊展	H26.4.1～5.18	4,540	2,951	687	2,264	1,589	229	142
	新潟地震展	H26.6.14～8.24	6,681	4,221	2,955	1,266	2,460	748	445
	むかしのくらし展「冬のに いがた」	H26.9.6～12.23	10,635	0	0	0	10,635	2,897	347
	沼垂展	H27.1.10～2.8	3,491	0	0	0	3,491	353	58



年度別 来館者数の推移

(平成)年度	来館者数	対前年比	常設展 (有料)	企画展 (有料)	体験の広 場 (無料)	情報ライ ブラ リ (無料)	来館者の累計
15年度	22,509		22,509				22,509
16年度	334,579	312,070	117,383	72,469	129,928	14,799	357,088
17年度	170,554	-164,025	52,897	30,284	81,048	6,325	527,642
18年度	175,498	4,944	55,180	46,493	68,832	4,993	703,140
19年度	128,916	-46,582	39,666	24,521	60,862	3,867	832,056
20年度	127,124	-1,792	39,060	26,032	58,552	3,480	959,180
21年度	126,996	-128	41,453	27,325	54,887	3,331	1,086,176
22年度	109,643	-17,353	31,415	29,102	45,818	3,308	1,195,819
23年度	112,332	2,689	34,545	28,074	46,668	3,045	1,308,151
24年度	123,322	10,990	37,679	51,506	31,696	2,441	1,431,473
25年度	92,191	-31,131	30,529	22,175	37,089	2,398	1,523,664
26年度	113,657	21,466	29,940	29,077	51,879	2,761	1,637,321
累計	1,637,321						



* 企画展には次のものを含む

- 16年度：「にいがた 街の記憶」、「新潟の乗り物」、「長安文物秘宝展」、「ふゆのにいがた」、「鉄と日本刀展」収蔵品展「新潟ののこぎり」
- 17年度：「川村修就とゆらぐ幕府支配」、「蒲原のあけぼの」、「新潟の鮭」、「あそび」、収蔵品展「新潟の絵図」、「新・収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」、「萬代橋展」
- 18年度：「新・収蔵品展」、「よみがえる源氏物語絵巻展」、「新潟の舟運」、「手回し機械」、「新潟・文人去来」、「収蔵品・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
- 19年度：「新潟・文人去来」(4/1のみ)、「古写真の中の新にいがた」、「西暦647年にいがた」、「船と船大工」、「食の風景」、「収蔵品・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
- 20年度：「酒蔵」、「ムラの学校・マチの学校」、「絵図が語るみなと新潟」、「米とくらし」、特集展示「古文書が語る上杉氏と直江兼続」、「新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」、同「天地人パネル展」、同「安吾展」
- 21年度：「五姓田」、「蒲原平野の20世紀」、「ハルビン金代文化展」、「マチとムラの消防」、「新収蔵品展」、「収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
- 22年度：「三芳悌吉『砂丘物語』原画」、「海峡を越えて-佐渡と新潟-」、「お店やさん」、活動展示「ひきだす」、「新収蔵品展」、「収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
- 23年度：「新潟美人展」、「発掘された日本列島2011」、「今日は何を着よう?」、「活動展示2011」、「収蔵品展・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
- 24年度：「にいがたの近代建築展」、「開墾の技術史展」、「くらしの道具」、「活動展示2012」、「収蔵品展・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」、同「若沖・応挙展」
- 25年度：「報じられなかった写真展」、「新潟の漆器展」、「暮らしと住まいの道具」、「活動展示2013」、「収蔵品展・新収蔵品展」、「大新潟展(3.31まで)」、貸館による「現代工芸展」
- 26年度：「大新潟展(4.1から5.18まで)」、「新潟地震展」、「冬のにいがた」、「合併100周年記念『沼垂』展」、「収蔵品展・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」

2 観覧料収入及び減免の状況

平成26年度 来館者数一覧表

常設展示

名 称	開館日数	合計	観覧者数						新潟市観覧料収入 収入額
			有料計	個人	団体	無料計	うち授業	25/11中 7日無料	
常設展示	297	29,940	19,557	11,413	8,144	10,383	4,874	1,328	3,598,300
			65.32%	34.68%					

企画展

名 称	開館日数	合計	観覧者数						新潟市観覧料収入 収入額
			有料計	個人	団体	無料計	うち授業	25/11中 7日無料	
大新潟湊展 ※	H26.4.1～5.18	4,540	2,951	687	2,264	1,589	229	142	1,466,040
新潟地震展	H26.6.14～8.24	6,681	4,221	2,955	1,266	2,460	748	445	1,933,960
むかしのくらし展「冬の いがた」	H26.9.6～12.23	10,635	0	0	0	10,635	2,897	347	0
合併100周年記念「沼 垂」展	H27.1.10～2.8	3,491	0	0	0	3,491	353	58	0
計		25,347	7,172	3,642	3,530	18,175	4,227	992	3,400,000
			28.30%	71.70%					

(※「大新潟湊展」は、平成26年3月21日から開催。)

収蔵品展

名 称	開館日数	観覧者数						
		合計	有料計	個人	団体	無料計	うち授業	25/11中 7日無料
収蔵品展・新収蔵品展	H27.2.21～3.29	2,753	0	0	0	2,753	151	58

貸館による企画展示室の入館者数

名 称	期 間	入館者数	会 場
現代工芸新潟会展 (主催 現代工芸新潟会)	H26.5.24～6.1	977	企画展示室

【入場者数】

その他の施設	年間入館者数
体験の広場	51,879
情報ライブラリー	2,761

【観覧料等収入額】

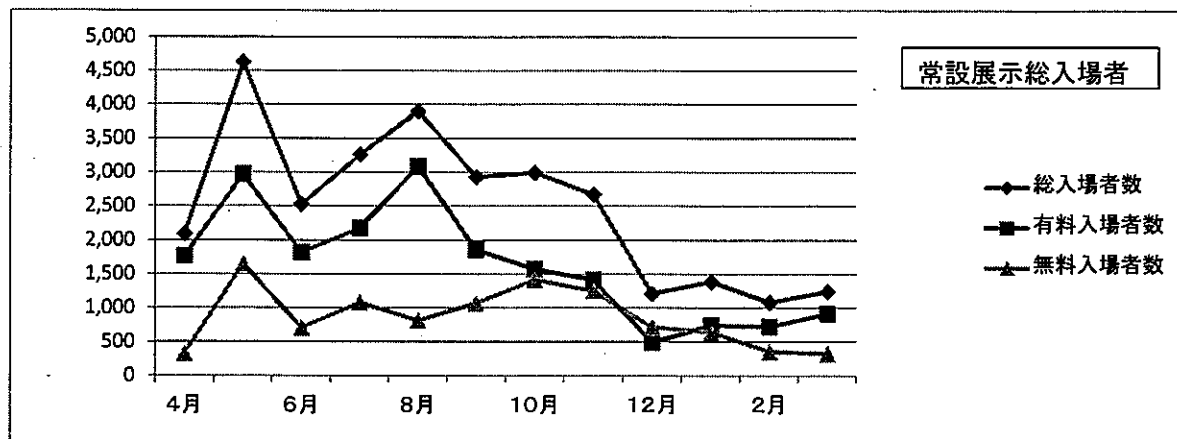
収入内訳	収入額
観覧料	6,998,300
設備使用料	1,128,845
新潟市収入合計	8,127,145

【博物館本館 各施設入館者数合算】

博物館本館合計	113,657
---------	---------

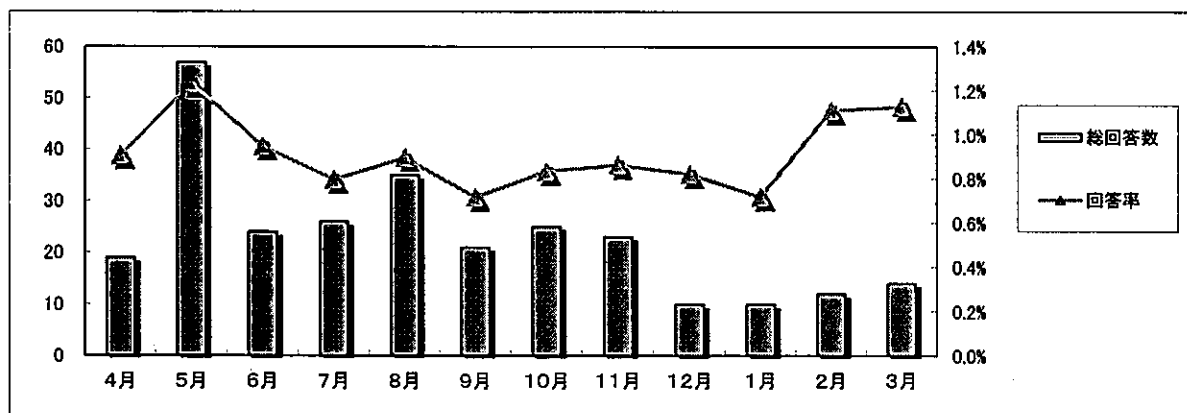
3 アンケート結果

2014年度常設展示アンケート集計



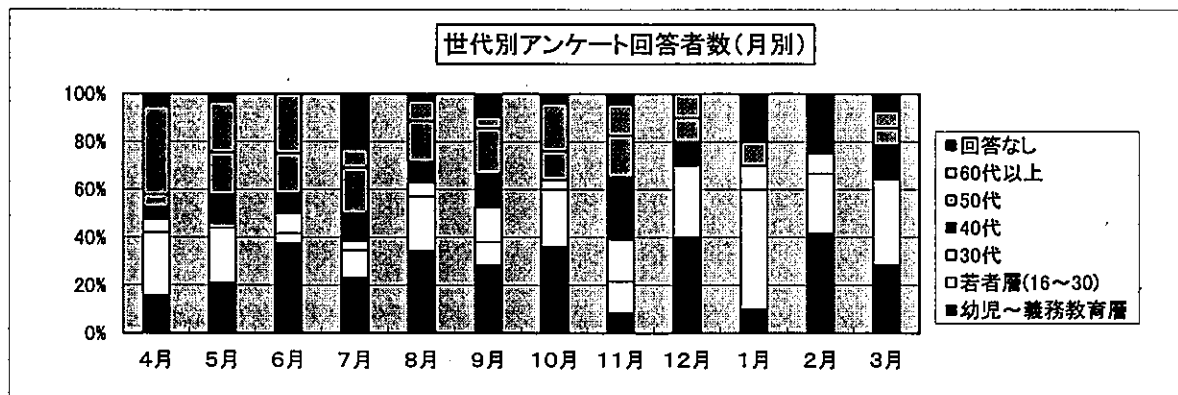
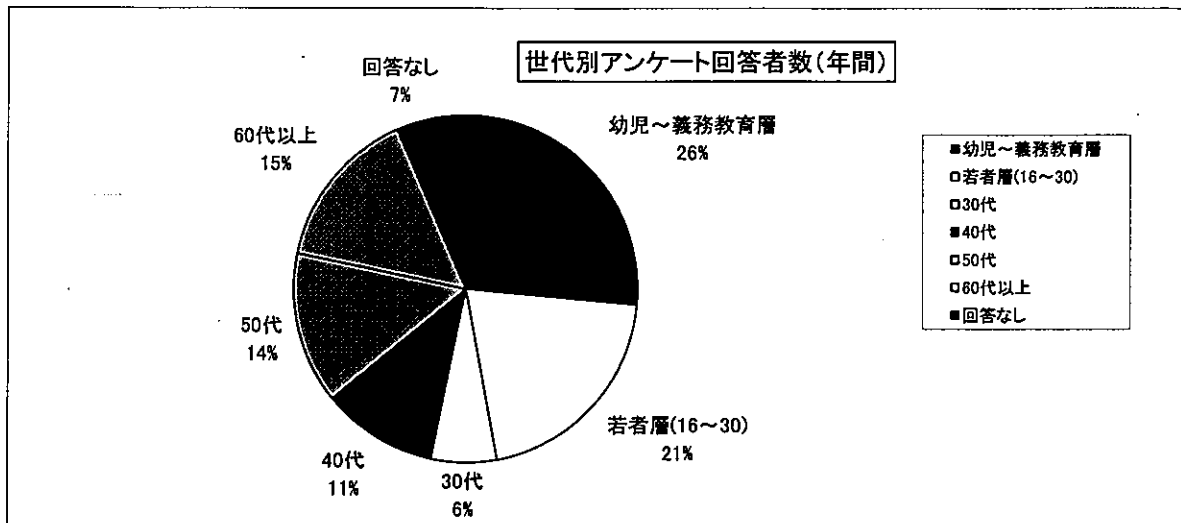
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総入場者数	2,097	4,622	2,532	3,261	3,904	2,930	2,997	2,668	1,216	1,391	1,080	1,242	29,940
有料入場者数	1,767	2,972	1,822	2,179	3,088	1,858	1,577	1,413	494	746	726	915	19,557
無料入場者数	330	1,650	710	1,082	816	1,072	1,420	1,255	722	645	354	327	10,383

アンケート回答率(月別)



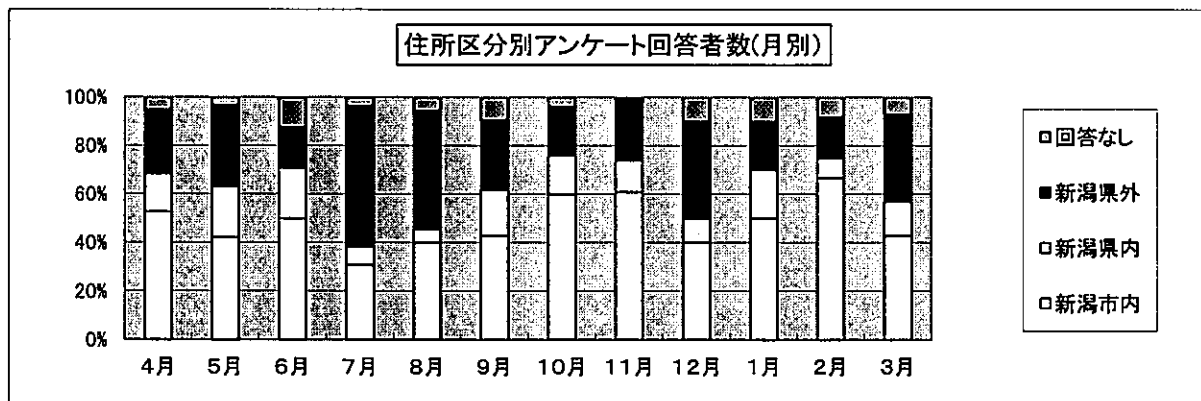
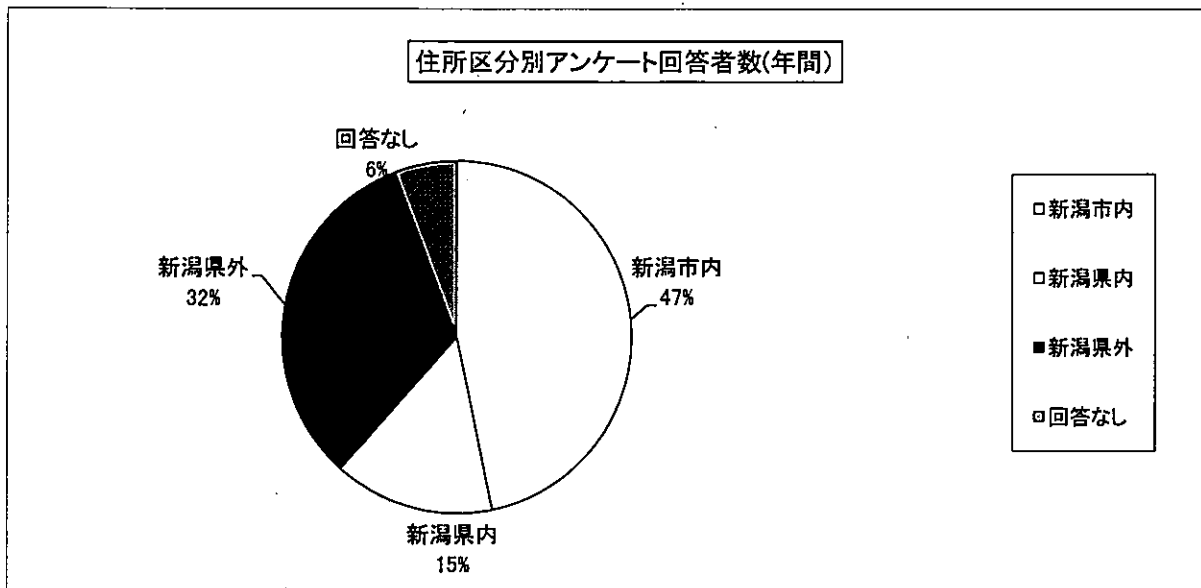
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総入場者数	2,097	4,622	2,532	3,261	3,904	2,930	2,997	2,668	1,216	1,391	1,080	1,242	29,940
総回答数	19	57	24	26	35	21	25	23	10	10	12	14	276
回答率	0.9%	1.2%	0.9%	0.8%	0.9%	0.7%	0.8%	0.9%	0.8%	0.7%	1.1%	1.1%	0.9%

世代別アンケート回答者数



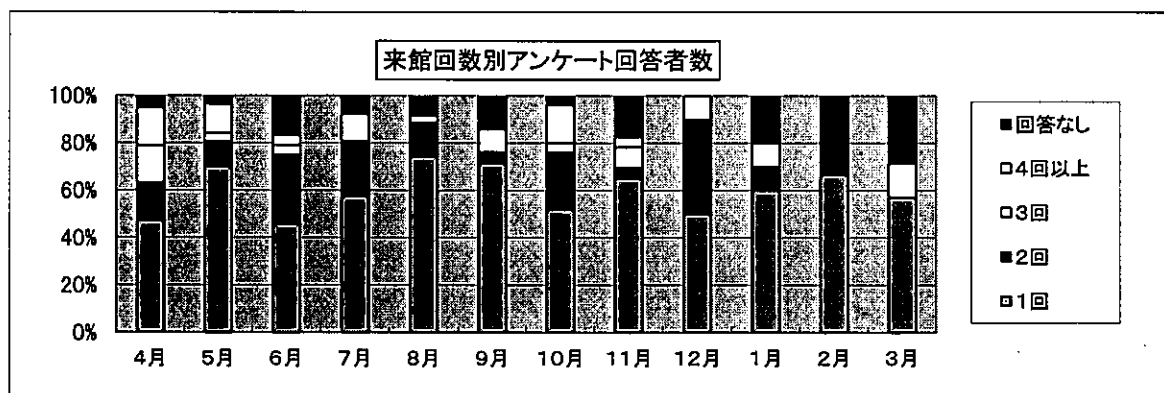
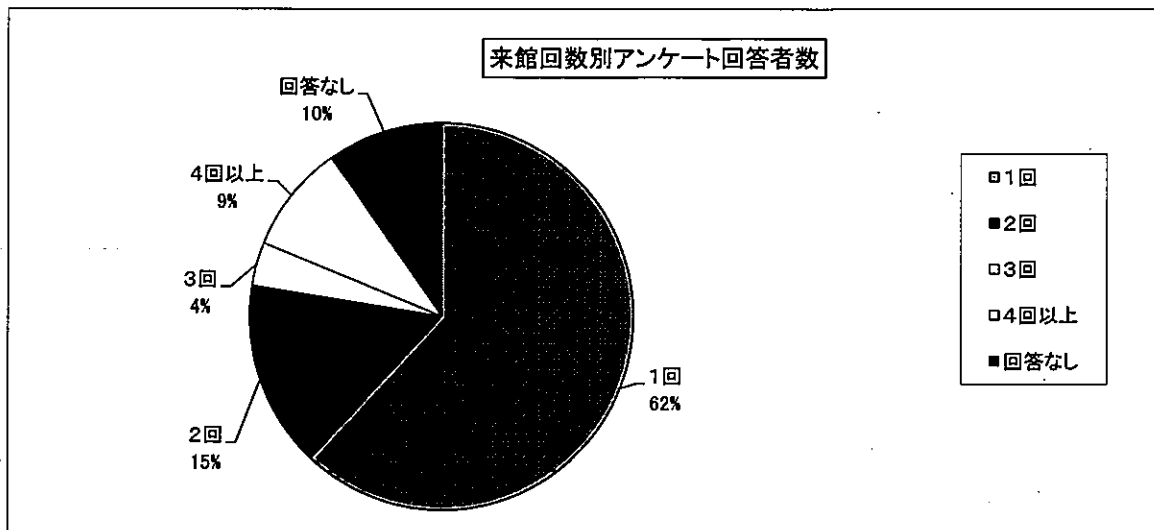
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総回答数	19	57	24	26	35	21	25	23	10	10	12	14	276
世代													
幼児～義務教育層	3	12	9	6	12	6	9	2	4	1	5	4	73
若者層(16～30)	5	13	1	3	8	2	6	3	3	5	3	5	57
30代	1	1	2	1	2	3	1	4	0	1	1	0	17
40代	1	7	2	3	3	3	0	6	1	0	2	2	30
50代	1	10	4	5	6	4	3	4	1	0	0	1	39
60代以上	7	12	6	2	3	1	5	3	1	1	0	1	42
回答なし	1	2	0	6	1	2	1	1	0	2	1	1	18
有効回答合計	19	57	24	26	35	21	25	23	10	10	12	14	276

住所区分



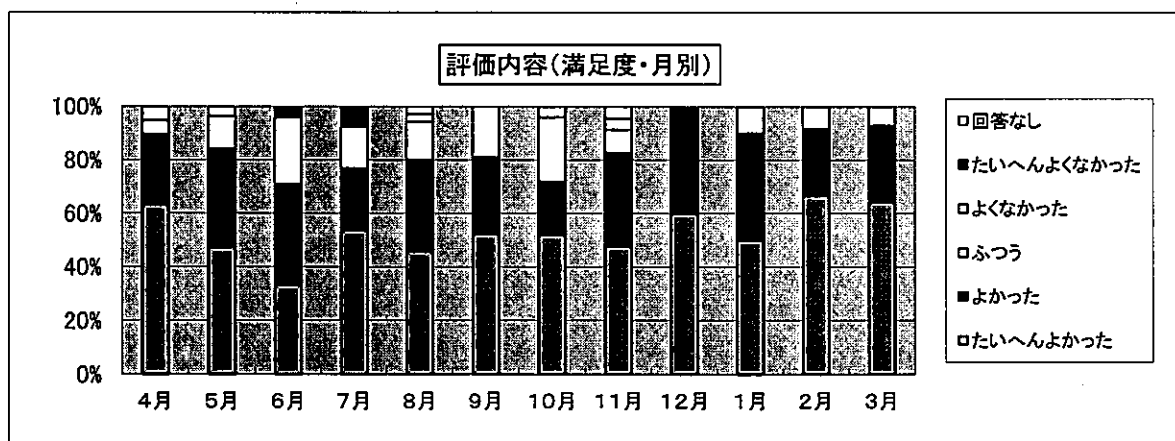
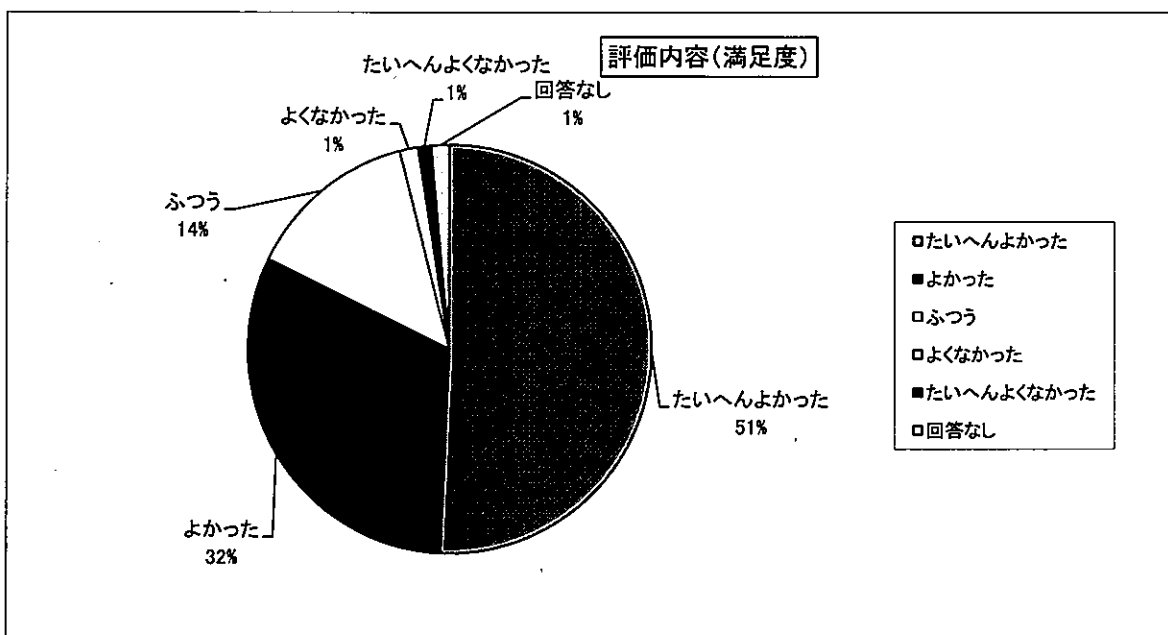
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総回答数	19	57	24	26	35	21	25	23	10	10	12	14	276
住所区分													
新潟市内	10	24	12	8	14	9	15	14	4	5	8	6	129
新潟県内	3	12	5	2	2	4	4	3	1	2	1	2	41
新潟県外	5	19	4	15	17	6	5	6	4	2	2	5	90
回答なし	1	2	3	1	2	2	1	0	1	1	1	1	16
有効回答合計	18	55	21	25	33	19	24	23	9	9	11	13	260

来館回数



項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総回答数	19	57	24	26	35	21	25	23	10	10	12	14	276
来館回数 1回	9	40	11	15	26	15	13	15	5	6	8	8	171
2回	3	6	7	6	5	1	6	1	4	1	3	0	43
3回	3	2	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	10
4回以上	3	7	1	3	1	2	4	1	0	1	0	2	25
回答なし	1	2	4	2	3	3	1	4	0	2	1	4	27
有効回答合計	18	55	20	24	32	18	24	19	0	8	11	10	239

評価内容(満足度)

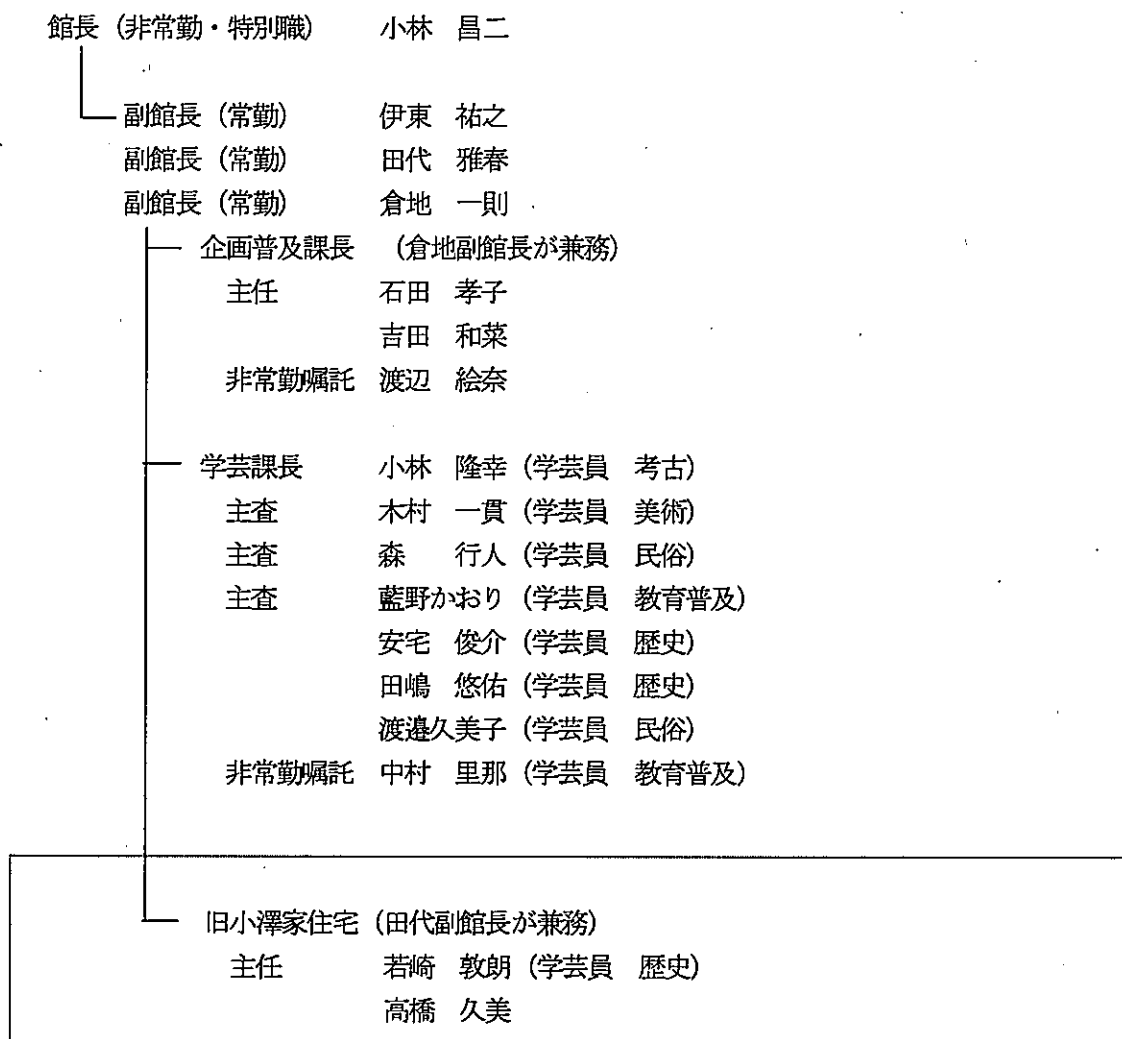


項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総回答数	19	57	24	26	35	21	25	23	10	10	12	14	276
たいへんよかった	12	27	8	14	16	11	13	11	6	5	8	9	140
よかった	5	21	9	6	12	6	5	8	4	4	3	4	87
ふつう	1	7	6	4	5	4	6	2	0	1	1	1	38
よくなかった	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	4
たいへんよくなかった	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
回答なし	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	4
有効回答合計	19	55	24	26	34	21	25	22	10	10	12	14	272

V 組織・会計

1 組織・事務分掌

■組織



■事務分掌

○企画普及課

歴史博物館等の施設の管理, 予算・決算, 会計, 庶務, 施設普及事業, 広報・宣伝, 博物館運営協議会の事務 など

○学芸課

歴史資料の調査・研究・収集・保存, 常設展・企画展等の企画立案と実施, 教育普及事業, 歴史文化に関する相談と情報提供 など

○旧小澤家住宅

旧小澤家住宅の施設の管理, 予算・決算, 会計, 庶務, 施設普及事業, 広報・宣伝の事務 及び 旧小澤家住宅の収蔵資料, みなとまち新潟の歴史や文化に関する調査・研究並びに成果の展示, 講演会, 講習会, 体験学習の開催の企画立案と実施, 教育普及事業, 収蔵資料の保存管理 など

収 支 決 算 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収入の部				
① 事業収入	371,000	762,465	△ 391,465	
文化事業収入	371,000	762,465	△ 391,465	講座資料代、体験プログラム参加費等
② 補助金等収入	210,922,000	207,012,434	3,909,566	
事業受託収入	18,864,000	17,500,242	1,363,758	新潟市指定管理料(歴史文化事業費分)
施設管理受託収入	192,058,000	189,512,192	2,545,808	新潟市指定管理料(施設管理受託事業費分)
国庫助成金収入	0	0	0	
民間助成金収入	0	0	0	
③ 雑収入	0	45,499	△ 45,499	
雑収入	0	45,499	△ 45,499	
収入計	211,293,000	207,820,398	3,472,602	
支出の部				
① 文化事業費	19,235,000	18,262,707	972,293	歴史文化事業費
賃金	5,245,000	4,981,350	263,650	・展示更新事業 513,618
福利厚生費	489,000	477,755	11,245	・企画展示事業 8,210,166
旅費交通費	629,000	484,514	144,486	・教育普及事業 980,907
通信運搬費	900,000	764,694	135,306	・施設普及事業 1,806,073
消耗什器備品費	580,000	579,267	733	・調査研究事業 868,865
消耗品費	2,646,000	2,645,446	554	・資料整理保存 5,883,078
修繕費	308,000	150,444	157,556	
印刷製本費	3,443,000	3,442,823	177	
燃料費	9,000	8,600	400	
使用料及び賃借料	136,000	135,964	36	
保険料	46,000	38,364	7,636	
諸謝金	172,000	172,000	0	
租税公課	1,000	600	400	
委託費	2,703,000	2,702,950	50	
役務費	20,000	19,570	430	
広告宣伝費	1,654,000	1,653,266	734	
食糧費	47,000	5,000	42,000	
手数料	1,000	100	900	
備品購入費	206,000	0	206,000	
② 文化施設管理受託事業費	192,058,000	189,557,691	2,500,309	歴史博物館等管理費
報酬	2,880,000	2,655,000	225,000	・人件費 48,240,764
給料手当	34,917,000	34,574,798	342,202	・物件費 159,579,634
賃金	4,071,000	4,070,200	800	
退職給付引当資産取得	1,000,000	999,674	326	
福利厚生費	6,371,000	5,941,092	429,908	
旅費交通費	100,000	67,246	32,754	
通信運搬費	1,167,000	1,145,684	21,316	
消耗什器備品費	678,000	677,484	516	
消耗品費	1,628,000	1,172,743	455,257	
修繕費	1,485,000	1,484,514	486	
印刷製本費	286,000	285,714	286	
燃料費	99,000	97,410	1,590	
光熱水費	31,782,000	31,781,623	377	
使用料及び賃借料	2,997,000	2,996,280	720	
保険料	68,000	67,070	930	
諸謝金	268,000	190,148	77,852	
租税公課	2,283,000	2,282,500	500	
負担金	55,000	55,000	0	
委託費	96,033,000	95,485,865	547,135	
役務費	2,000	1,728	272	
食糧費	38,000	37,872	128	
工事請負費	3,349,000	3,348,810	190	
手数料	140,000	139,236	764	
備品購入費	361,000	0	361,000	
支出計	211,293,000	207,820,398	3,472,602	
当期収支差額	0	0	0	

収 支 決 算 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収入の部				
① 販売収入	101,000	156,909	△ 55,909	
販売収入	101,000	156,909	△ 55,909	
② 雑収入	360,000	362,976	△ 2,976	
物品販売委託手数料	177,000	164,442	12,558	
自動販売機手数料	116,000	126,819	△ 10,819	
その他収入	67,000	71,715	△ 4,715	
当期収入計	461,000	519,885	△ 58,885	
前期繰越収支差額	2,606,000	2,992,571	△ 386,571	
収入計	3,067,000	3,512,456	△ 445,456	
支出の部				
① 付帯事業費	602,000	672,314	△ 70,314	
消耗品費	52,000	51,006	994	
光熱水費	41,000	40,715	285	
使用料及び賃借料	94,000	93,569	431	
租税公課	1,000	400	600	
委託費	378,000	377,620	380	
役務費	12,000	11,240	760	
手数料	24,000	23,220	780	
棚卸商品減少額	0	74,544	△ 74,544	
当期支出計	602,000	672,314	△ 70,314	
当期収支差額	0	△ 152,429	152,429	
次期繰越収支差額		2,840,142	△ 2,840,142	

3 新潟市歴史博物館運営協議会

■設置の目的

館運営について広く意見を聴くため、館長の諮問機関として設置
概ね年2回開催

■任期

平成25年4月1日から平成27年3月31日まで

■開催状況及び議題等

第1回（平成26年7月30日開催）

- ・25年度決算・事業報告について
- ・26年度事業について
- ・利用状況及び来館状況、事業の実施状況について
- ・中長期的な館運営方針について ほか

第2回（平成27年2月24日開催）

- ・26年度の来館状況、事業の実施状況について
- ・27年度予算案・事業計画について
- ・次期指定管理期間の運営方針について ほか

■委員名簿（平成27年3月31日現在）

氏 名	所 属 等
池田 哲夫	新潟大学人文学部教授（民俗）
井上 美保子	BSN新潟放送
梅沢 薫	公募委員
佐藤 勝則	新潟日報社
佐藤 秀彦	入舟小学校長
関本 守	公募委員
玉木 浩	白根北中学校長
橋本 博文	新潟大学人文学部教授（考古）
星名 泉	公募委員
三郎 佳之	日本旅行業協会新潟県地区委員会委員長
本井 晴信	新潟県立図書館
横山 裕	まちづくりグループ「寺町からの会」
和氣 彰	新潟市小中学校PTA連合会副会長

（50音順）